

The 25th Anniversary



神戸垂水ロータリークラブ
創立25周年記念誌



The

th Anniversary

D-2680 KOBE TARUMI

25年の歩み

The
25th
Anniversary

■Contents

歓迎のことば

神戸垂水ロータリークラブ会長 田中 彰…………… 1

祝 辞

国際ロータリー第2680地区ガバナー 米谷 収…………… 2

神戸垂水ロータリークラブ創立25周年を祝って

神戸市垂水区長 川本 靖夫…………… 3

記念公演

…………… 4

創立25周年記念例会次第

…………… 5

創立25周年記念祝賀会次第

…………… 6

来 賓

…………… 7

クラブ別参加名簿

…………… 8

祝 辞

…………… 9

感 謝 状

…………… 10

ロータリーの概況

……………13-16

主要事業

…………… 17

歴代R.I.会長ターゲット

……………18-19

歴代会長・幹事

…………… 20

1986～1987年度地区年次大会委員長の回想

…………… 21

区民講座第1回開催の思い出

…………… 23

プロバスクラブ（ちどり会）設立の思い出

…………… 24

1993～1994年度神戸第2分区I.M.を開催して

……………26-27

インターアクトクラブ創立によせて

……………28-29

1999～2000年度 神戸第2分区I.M.を開催して	30-31
記念事業実行委員会（盲導犬貸与事業）	32-33
25年の歩み	
1985～1986年度	36-37
1986～1987年度	38-39
1987～1988年度	40-41
1988～1989年度	42-43
1989～1990年度	44-45
1990～1991年度	46-47
1991～1992年度	48-49
1992～1993年度	50-51
1993～1994年度	52-53
1994～1995年度	54-55
1995～1996年度	56-57
1996～1997年度	58-59
1997～1998年度	60-61
1998～1999年度	62-63
1999～2000年度	64-65
歴代役員名簿	66-68
思い出の写真集	69-72
編集後記	72



神戸垂水ロータリークラブ
会長 田 中 彰

歓迎のことば

ロータリー基本理念である奉仕の理想を求めつつ先輩会員の献身的な努力のお陰をもちまして、ここに神戸垂水ロータリークラブ創立25周年記念式典を、開催できます事は我々全会員にとりまして、最大の慶びであります。式典を開催するにあたり川本垂水区長・米谷ガバナーを始め各界より多数の御来賓を迎える事ができ、その上暖かい励ましの言葉を頂戴し感謝の念に耐えません。又、遥か遠く台湾より友好クラブである基隆東扶輪社社長を始めメンバー並びに御家族の参加に対しましても厚く御礼申し上げます。

神戸垂水ロータリークラブは、25年前の昭和49年11月30日に神戸須磨ロータリークラブをスポンサーとし故益子特別代表の絶大なるご支援により、めでたく誕生しました。花房会長を始め総勢33名で発足致しましてから、四分の一世紀を経ることができました。

基隆東扶輪社とは、創立間もなく姉妹クラブとして友好関係を結び、又、当クラブ会員の岡田弘三郎特別代表の尽力によって、神戸西神ロータリークラブの創立を1983年6月に行いました。その後、1991年プロバスケットボールクラブ・1995年インターアクトクラブを設立致しました。当クラブの特筆すべき事業と致しましては、R.I創立75周年記念事業の一環として盲導犬10頭の寄贈を行い世間の大きな反響を得ました。

大きな出来事と致しましては、阪神・淡路大震災今世紀最大といえる台湾の大震災で、互いに義援金を送り、早急な復興を願い、お互いの友好関係と固い絆を再確認致しました。

社会は大いなる変革の時期を迎えロータリーもその転換期にあると思われます。

私たちは、25周年を迎えたのを機に、各会員が、親睦を図り、奉仕の理想に向かってクラブを自己研鑽の道場として、我クラブの伝統と歴史を大切にし、更なる発展を遂げるべく、努力を進めて行きたいと存じます。御参会頂きました皆様方の、益々の御健勝と御発展をお祈り致しまして、私の歓迎の挨拶とさせていただきます。



国際ロータリー第2680地区

ガバナー 米谷 収

祝 辞

謹んで、貴クラブの輝ける創立25周年賛辞の意を申し上げます。

貴クラブは、1974年に神戸須磨ロータリークラブをスポンサークラブとして設立以来、四半世紀にわたり、垂水地区においてロータリーの使命である「奉仕の精神」を実践されてこられました。その多大な功績は顕彰に値し、第2680地区としてその栄誉を讃えるものであります。

特に、神戸国際大学付属高等学校インターアクトクラブ、神戸少年少女合唱団「コスモス」、青少年交換プログラム等の「新世代の為のプログラム」を積極的に推進されています。学級崩壊、青少年犯罪の凶悪化等、現代の日本において青少年問題は深刻になっています。その様な状況の中で、これらの地域に根ざした活動により、次の世代を担う青少年を育てようという貴クラブの気概に触れ、改めて深甚なる感謝の念を抱かざるを得ません。

一方、地域奉仕についても1993年から盲導犬貸与活動を実施され既に10頭を地域の視覚障害者に貸与されています。また、プロバスクラブにも積極的に取り組まれており地域に多大なる貢献をされていることに賞賛と感謝を申し上げます。

更には、当地区において最も早くインターネットのホームページを作成され、会員間のコミュニケーションは言うに及ばず、地域住民はもとより広く全世界にその活動をアピールされ、国際ロータリーの精神の普及に貢献されていることも当地区の誇りでございます。この様に常に進取の気鋭に溢れ、新しいものに挑戦されている貴クラブに敬服いたしております。

今後ともロータリーの精神を地域に拡大され、貴クラブが益々発展されて地域に貢献し続けていかれんことを祈念致しております。



神戸市垂水区長

川 本 靖 夫

神戸垂水ロータリークラブ 創立25周年を祝って

神戸垂水ロータリークラブが、このたび25周年の記念すべき日をお迎えになりましたことを心からお喜び申し上げます。

貴クラブは、常日頃よりロータリーの崇高なる社会奉仕の理念に基づき、地域の発展のために、様々な分野でめざましい活動を展開しておられます。そして、現在、区内に確固たる地位を築いておられますことは、誠にご同慶の至りです。

特に、障害福祉の推進におきましては、身体障害者社会学級生への支援や、盲導犬の育成への支援など幅広くご活動いただき、その功績は枚挙にいとまがございません。心から敬意を表したいと存じます。また、環境問題に対しましても、地球温暖化防止のために、エネルギーの省力化やアイドリングストップ運動などを力強く推進しておられます。この場をお借りして、厚くお礼申し上げる次第です。

さらに、今回の25周年記念行事として、青少年問題を中心に特別講演会を開催されると伺っております。非行の低年齢化や、学級崩壊などが叫ばれる昨今、誠に時宜にかなったテーマであり、貴クラブの積極的な活動に重ねて感謝申し上げたいと存じます。

さて、垂水のまちは、明石海峡大橋の開通をはじめ、アジュール舞子やマリンピア神戸の整備、垂水駅前再開発ビルの年度内の完成など、来る21世紀に向けて大きく飛躍しようとしております。貴クラブの皆様におかれましては、垂水の活力あるまちづくり推進のために、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、2001年には、“震災の復旧・復興支援に対する感謝のメッセージ”と“神戸の夢・魅力”を内外に発信する「神戸21世紀・復興記念事業」を全市で開催いたします。将来を担う子どもたちの夢を育むものでもあり、貴クラブの力強いご支援・ご協力をお願いしたいと存じます。

最後に、貴クラブの一層のご隆盛と、会員の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げましてお祝いの言葉といたします。

神戸垂水ロータリークラブ創立25周年

記念講演会

講師 藤本 義一 先生
テーマ 「人間再発見」

作家・日本放送作家協会関西支部長 社会福祉法人「浜風の家」理事長

【出生】 大阪府 昭和8年1月28日生

【学歴】 大阪府立大学経済学部卒

【経歴】 ラジオ・テレビドラマの脚本を手がけ、昭和32年「つばくろの歌」で芸術祭文部大臣賞受賞、昭和49年「鬼の詩」で第71回直木賞受賞、またテレビ「11PM」では、番組開始以来25年間にわたって司会者を勤め、映画部門に於いては、故川島雄三監督に師事、大映「犬シリーズ」東宝「駅前シリーズ」などのシナリオを担当。

【著書】 「ちりめんじゃこ」「生いそぎの記」「今日は明日の昨日」「蜚の宿」
(第7回日本文芸大賞受賞作品)

☆ ☆ ☆

多才な能力の持ち主としてタレント中のタレントの誉れ高く小説家という大層なイメージを自らの行動でぶち破った存在意義は大きい。

大阪の人情話、芸人物、商売物などを主なテーマに取上げ、主人公に同化することなく、つき離しながら軽妙なタッチで描く作風は、上方文化を愛する者にはこたえられぬ魅力をもって引きつける。

人間、商売、歴史、風俗、習慣、言葉、更には家庭問題、教育、文化など日常生活に根づいた話題と卓越した観察眼をもちポンポンと飛び出す数々の講演は好評。

大阪府立大学在学中からシナリオを書き、各放送局のラジオドラマ脚本コンクールに応募し多数入選。

在学中の昭和32年には「つばくろの歌」で芸術祭、演劇脚本部門の文部大臣賞を受ける。これまでに書いた映画、テレビ、舞台の脚本は約3,000本以上にのぼる。

小説は昭和44年「ちりめんじゃこ」で直木賞候補、49年4度目の候補作「鬼の詩」で念願の受賞を果たす。

神戸垂水ロータリークラブ

創立25周年記念例会次第

1999年12月4日 16:00 舞子ビラ (あじさいホール)

15:30	登録開始		
16:00	開 会	【司会：長谷川 良 彦】	
	点 鐘	神戸垂水 R C 会長	田 中 彰
	開 会 あ い さ つ	25周年実行委員長	春 名 敏 男
	四つのテスト唱和	司 会	
	国 歌 斉 唱	唱 歌 委 員 長	谷 口 洋 子
	ロータリーソング (奉仕の理想)		
	物 故 者 黙 禱	司 会	
	来 賓 紹 介	神戸垂水 R C 会長	田 中 彰
	ビ ジ タ ー 紹 介	親 睦 活 動 委 員 長	山 中 勉
	会 長 報 告	神戸垂水 R C 会長	田 中 彰
	幹 事 報 告	神戸垂水 R C 幹事	由 良 博
	出 席 報 告	神戸垂水 R C 出席委員長	中 村 裕 一
16:30	祝 辞	RI2680地区ガバナー	米 谷 収
		神戸須磨 R C 会長	本 多 博 明
		基隆 東 R C 会長	邸 垂 裕
16:45	神戸垂水ロータリーソング 3 番歌詞完成披露		
	神戸少年少女合唱団コスモス		
16:50	25年の歩み【スライド】	神戸市垂水 R C 幹事	由 良 博
17:15	祝 電 披 露	司 会	長谷川 良 彦
17:20	閉 会 の 言 葉	副 会 長	松 木 真 志
17:25	点 鐘	神戸垂水 R C 会長	田 中 彰

神戸垂水ロータリークラブ

創立25周年記念祝賀会次第

1999年12月4日 18:00 開 会・舞子の間

17:30	会 場 移 動		
17:55	予 鈴		
18:00	開 宴	司 会	東 村 千 穂
	開 会 の 辞	25周年実行委員長	春 名 敏 男
	会 長 あ い さ つ	神戸垂水RC会長	田 中 彰
	ご来賓あいさつ	神戸垂水区長	川 本 靖 夫
		神戸西神RC会長	鶴 井 孝 文
	感謝状贈呈・基隆東RCへ	神戸垂水RC会長	田 中 彰
	感謝状受領・基隆東RCから	基隆東RC会長	邱 垂 裕
18:25	乾 杯	RI2680地区代表幹事	和 田 憲 昌
	会 食		
18:30	(BGM:中国古筝演奏)	【蔡愛琴】	
19:00	アカペラグループコンサート	PHEW PHEW LIVE	
19:45	ショートスピーチ		
	盲導犬協会お礼・インターアクト活動のお礼		
20:00	25周年祝賀会の謝辞	25周年実行副委員長	吉 田 欣 也
20:05	閉 会 の 辞	親睦活動委員長	山 中 勉
	ロータリーソング	【手に手つないで】	

来 賓

(敬称略 順不同)

ロータリー関係来賓ご芳名

(地区役員)

RI第2680地区 ガバナー	(神戸南)	米 谷 収
RI第2680地区 プロバス委員長	(神戸北)	高 野 秀 勝
神戸第二分区代理	(神戸垂水)	山 崎 良 磨
東播第一分区代理	(明石北)	中 根 暁
地区代表幹事	(神戸南)	和 田 憲 昌

来賓ご芳名

神戸市垂水区長	川 本 靖 夫
垂水消防署長	辻 井 章
垂水区連合婦人会会長	杉 山 力 子
垂水区連合自治会会長	糟 谷 日出男
垂水区社会福祉協議会理事長	大 野 金三郎
益子千年長特別代表ご遺族	益 子 恵美子
基隆東ロータリークラブ会長	邱 垂 裕
神戸須磨ロータリークラブ会長	本 多 博 明
神戸西神ロータリークラブ会長	鶴 井 孝 文
垂水プロバスクラブ(ちどり会)幹事	児 玉 利 通
兵庫県盲導犬協会会長	田 上 昭 一

(ロータリークラブ会長：幹事)

神戸西ロータリークラブ	会長 木村 栄	幹事 雲井 世雄
神戸須磨ロータリークラブ	会長 本多 博明	幹事 佐野 哲也
神戸北ロータリークラブ	会長 中西 勝	幹事 岡田 利男
神戸ハーバーロータリークラブ	会長 鍋島 俊樹	幹事 白石 旬
神戸西神ロータリークラブ	会長 鶴井 孝文	幹事 河合 敏三
神戸中ロータリークラブ	会長 市原紀久雄	幹事 佐々木仁朗
明石ロータリークラブ	会長 大那 隆史	幹事 岸本 昌三
明石西ロータリークラブ	会長 渡辺 源	幹事 長谷川恵一
明石北ロータリークラブ	会長 青山三樹男	幹事 福田 孝治
明石南ロータリークラブ	会長 村田 伸一	幹事 六井 龍洋

〈クラブ別参加名簿〉

神戸須磨ロータリークラブ

林 泰司 黒田佳和 永田 孝 逢坂光豊 山田芳信 橋本一豊

神戸西神ロータリークラブ

荒井正敏	藤城 薫	藤田 彰	福原 章	船原英樹
萩原育治	橋本 真	櫛木 奂	濱田和麿	池田實行
今田学志	井上秀雄	去来川岩生	景山鉄夫	上林伸次
河合敏三	川本正明	菊池寛二	岸本重和	幸田洋一
小西昌則	工藤涼二	丸尾研一	森 正義	森田貞一
中田忠義	中山克範	西藤隆弘	野口磐之	尾崎哲也
島内敏正	田中宗珍	田中安幸	谷本智明	藤堂彰男
鶴井孝文	宇津原勝章	藪地良道	山本欽也	山崎市雄
安田嘉之	横山晴貴	吉川諄一	吉川紀興	吉川孝郎

基隆東ロータリークラブ

邱 垂 裕	周 慧 敏	劉 銘 珍	廬 貴 美	王 百 盛
許 美 月	鄭 世 寅	吳 正 義	薛 良 花	游 祥 惠
魏 淑 萍	白 萬 再	白 沈 玉	陳 炳 煌	陳 達 聰
陳 吳 富美	黃 稱 奇	黃 洪 富	陳 朝 欽	黃 美 月
黃 賜 池	黃 潘 甜	謝 昌 惠	林 玉 雲	簡 恒 德
許 紹 業				

米山奨学生

ヤセン・アイニフル

インターアクトクラブ

澤江由奈 藤井智彬 天野慎一

プロバスクラブ (ちどり会)

岡 泉州 児玉利道

盲導犬関係

会長 田 上 昭 一 常務理事 梶 野 幸 一

盲導犬貸与者 清水幸代 (2号犬ハティ) 島田剛 (5号犬モネ)

斎藤晃司 (7号犬ウインク)

〈物故会員ご芳名〉

竹 崎 敏 夫 (1986. 4.28)	杉 本 樹 祐 (1987. 4.29)
磯 田 武 (1991. 1. 7)	楯 川 帝次郎 (1991.11.23)
新 井 賢 一 (1993.12.11)	藤 本 芳 彦 (1995. 5.10)
村 井 正 明 (1998. 8.28)	石 川 貞 雄 (1998.12.24)

祝 辞

R.I.3490 地区基隆東扶輪社

会長 邱 垂 裕

田中会長並びに御臨席の来賓の皆様、神戸垂水クラブ全会員及び会員夫人の皆様、おめでとうございます。

今日は、貴クラブ創立25周年記念日の佳き日に当たります。この記念すべき日に当たり謹んで此処に基隆東ロータリークラブを代表して心からお祝いを申し上げます。貴クラブの斯かる祝典に参加したいとは、当クラブ多数会員のつとに、期待する所であり、又、光栄とする所であります。又、貴クラブの熱意溢れる歓迎と接待を受け、心に深く感謝すると共に無比の光栄を感じる次第でございます。

ロータリーの四大奉仕は順を追って、漸進するものであり、我が国でよく引用される礼記の中の名句。「終身、齊家、治国、平天下」の如く、国際奉仕は平天下の一番良い方式であり、奉仕の理想で結び会ったロータリアンがグローバルな友誼を以って、国際親善と平和を増進するものであります。国外のシスター・クラブや友好クラブとが両国の人民のために友誼の架け橋を構築し、この橋を借りて、お互いの了解を深め、互いに善意を尽くし、以ってロータリー運営の目的を、達成する事が出来るものと思います。

既に長い間、貴クラブは歴年のR.I.会長の掲げるロータリー奉仕の、スローガンを遵守して世界的国際奉仕を推進して来ました。又、適時、地方のニーズにマッチした、各種の愛の活動を、実行して来ました。この様な活動は誠に、称賛すべきものであります。特に、今年の夏の休暇中に貴クラブと我がクラブで共同して、青少年学生の交換訪問活動を挙行了事は誠に意義の深い事だと信じています。この活動に参加した学生は、等しく誰でも、心の奥深く美しい思い出を残したものでした。

又、貴クラブがR.I.の人道計画の一環として、我が国の独り暮らし老人のケアに対し、深く関心を寄せていただき、オートダイヤルによる独り暮らし老人の、緊急通報システムの導入に、多大の醸金を頂きました。厚く御礼申し上げます。

また、我が国の921大地震の被災者達にも、多額の義援金を醸出して下さいました。誠に感謝の他ありません。貴クラブの国と国とを超越した愛の心はきっと、ロータリーの温情を社会の隅々まで、普く吹き渡らせるものと、確信してやみません。謹んで、我が国の人々に代わって、心から、厚く御礼申し上げます。

西暦2000年のロータリアン精神は prospective であります。我々は consistency (一貫性) credibility (確実性)、continuity (永続性) の3cの精神を指南として、ロータリーの活動を推進し、以って、西暦2000年を迎えましょう。

終に当って、貴クラブの益々の御発展を祈念し、御臨席貴賓の方々の御健勝を祝します。

感 謝 状

此処に日本神戸垂水ロータリークラブの創立25周年記念日を迎えるに当たり、基隆市の市民を代表して、謹んでお祝いを申し上げます。

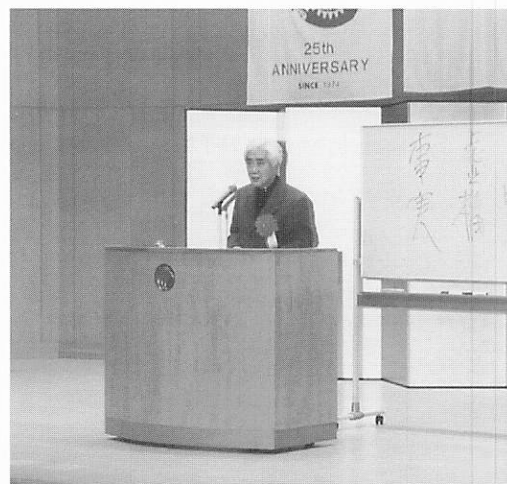
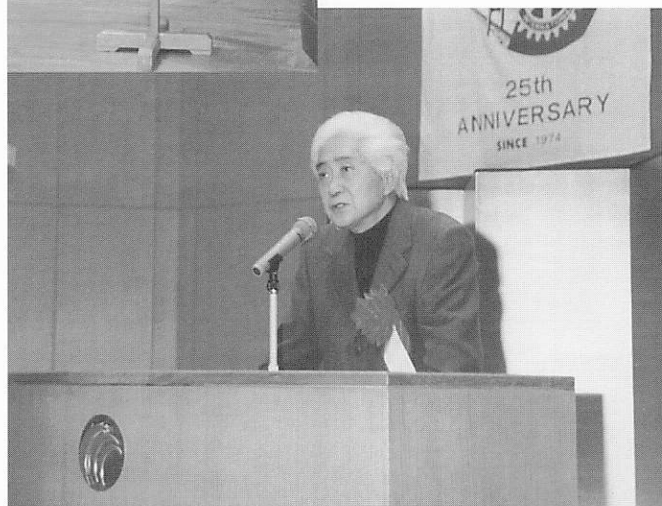
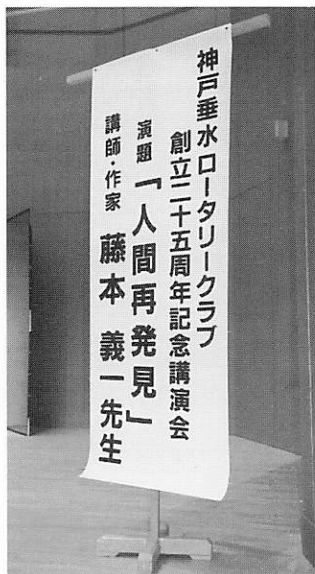
この程、田中会長が会員の方々を率い、基隆東ロータリークラブと連合して米ドル15,000ドルを醸出し、当市の独り暮らし老人の為に、緊急報知システムを導入していただき、老人達の生活安全に、一段の保障を加えて頂きました。斯かる義挙は基隆の市民の心に、永く感銘を残すものであります。

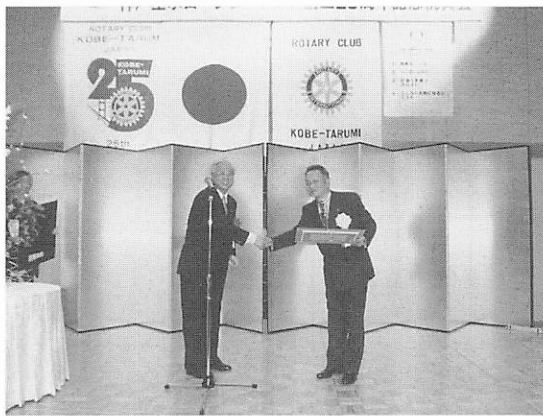
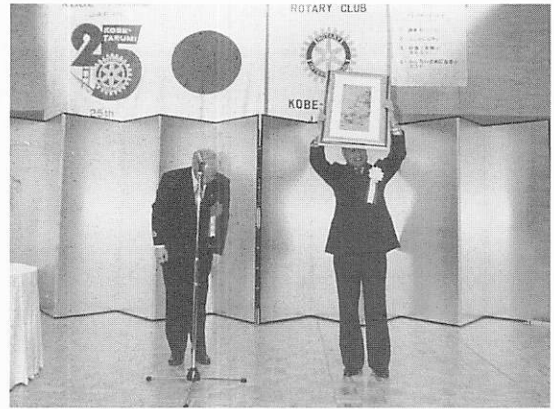
又、台湾の921車籠埔大地震は、中部の縣市に甚大なる災害を齎しました。其れに就いて貴クラブから日本円で120万円の義援金を頂きました。この義援金は既に基隆の市政府を通じて、災害救援責任部署に回しました。この義援金は台湾の震災後の復興に、多大の幫助を与えるものと思われます。此処に謹んで、御礼申し上げます。

基隆市市長

李 進 勇

1999.10.29





神戸垂水ロータリークラブ 概 況

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

四つのテスト

…言行はこれに照らしてから…

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そして、ロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

奉仕の理想

作詞 前田和一郎
作曲 萩原 英一

奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和 めぐる園車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

手に手つないで

作詞 矢野 一郎
作曲 萩原 英一

- 1 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おゝ ロータリアン
おゝ ロータリアン
- 2 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝ ロータリアン
おゝ ロータリアン

神戸垂水ロータリーソング

作詞 神戸垂水ロータリークラブ

- 1 真近にうかぶ 淡路島
舞子の浜の 白砂に
縁をいろどる 深緑
心のつながり 園車かんで
奉仕の誓い いや堅し
我等は垂水ロータリアン
- 2 いにしえ語る 五色塚
垂る水はしる 平磯に
四季を織りなす ちぬの海
心のつながり 園車かんで
友愛の絆 いや強し
我等は垂水ロータリアン
- 3 世界に誇る 大橋と
未来に架ける 友情を
襲ねて映す 碧い海
心のつながり 園車かんで
感謝の気持ち 美しく
我等は垂水ロータリアン

1. クラブ略歴

設 立 準 備	1974年 8月18日
創 立 総 会	1974年11月30日 於 あさひ銀行 垂水支店（前例会場）
R . I . 加 盟 承 認	1974年12月13日
チャーターナイト	1975年10月12日 於 オリエンタルホテル
チャーターメンバー	33名
設立当時のガバナー	平島健次郎ガバナー
スポンサークラブ	神戸須磨ロータリークラブ
特 別 代 表	益子千年長特別代表

2. 定款決定事項

名 称	神戸垂水ロータリークラブ The Rotary Club of Kobe Tarumi
区 域 の 限 界	神戸市のうち垂水区
理 事 の 定 数	7名
年 次 総 会	毎年12月 第1例会日
例 会 日 時	毎週木曜日 12時30分～13時30分（1994年7月より）
例 会 場 所	舞子ビラ（五色の間）
事 務 所	神戸市垂水区旭が丘2-1-25 三井生命保険相互会社垂水営業所内
定 例 理 事 会	毎月第1例会日
入 会 金 及 び 会 費	入会金 100,000円 会費 300,000円（年2回分割払）

3. 会 員

会員の種類及び現在数（1999年10月31日現在）

正会員 35名 内 シニアアクチブ 14名
内 居住地会員 16名

会員の年令（1999年10月31日現在）

年令分布	40才未満	1名
	40才～49才	1名
	50才～59才	13名
	60才～69才	14名
	70才以上	6名

平均年令 61.29才

最年長者 平岡康民 77才

最年少者 小坂敏哉 39才

チャーターメンバー（現在数）7名

4. ロータリー財団寄付額累計 \$90,633.91

ベネファクター

山 崎 良 麿

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

森 田 卓 ・ 田 中 教 仁 ・ 山 中 勉 ・ 山 崎 良 麿
吉 川 弘 治 ・ 善 國 高 豊 ・ 平 岡 康 民

ポール・ハリス・フェロー

山 崎 良 麿 ・ 吉 川 弘 治 ・ 花 房 安 一 ・ 森 田 卓
山 中 勉 ・ 吉 田 安 廣 ・ 岡 田 弘 三 郎 ・ 小 倉 良 知
伊 藤 博 ・ 坂 井 吉 富 ・ 善 國 高 豊 ・ 藤 橋 本 芳 彦
平 岡 康 民 ・ 吉 荒 勇 ・ 吉 田 高 欣 也 ・ 藤 橋 本 裕 惇
新 井 紀 美 子 ・ 藤 本 典 彦 ・ 深 水 昭 子 ・ 水 谷 裕 昂
永 田 哲 也 ・ 中 塚 修 吉 ・ 奥 井 順 子 博 彰 昌
鷺 尾 太 一 ・ 安 田 俊 吉 ・ 由 井 良 博 三 木

ポール・ハリス準フェロー

河 合 睦 文 ・ 藤 原 忠 ・ 小 西 唯 雄 ・ 安 田 俊 吉
水 谷 裕 昂 ・ 藤 本 典 彦 ・ 春 名 敏 男 ・ 春 田 昭 三
大 野 宣 夫 ・ 田 中 彰 彰 光 晴 田 中 教 仁
塩 谷 英 司 ・ 福 井 勝 良 彦 ・ 石 川 栄 子
小 坂 敏 哉 ・ 松 木 真 志 ・ 中 村 裕 一 ・ 岡 田 和 明
上 田 隆 史 ・ 山 口 卓 清 家 智 光 田 淵 良 平
谷 口 洋 子

5. 財団法人 ロータリー記念奨学金寄付金累計

普通寄付金 2,670,500円
特別寄付金 5,805,342円
8,475,842円

米 山 功 労 者

花 房 安 一 ・ 平 岡 康 民 ・ 山 崎 良 麿 ・ 坂 井 吉 富
森 田 卓 ・ 田 中 彰 ・ 山 中 勉 ・

米 山 準 功 労 者

藤 原 忠 ・ 吉 川 弘 治 ・ 森 田 卓 ・ 田 中 彰
檜 林 尚 ・ 吉 荒 勇 ・ 善 國 高 豊

6. 例会25年皆出席者

岡 田 弘 三 郎 ・ 吉 川 弘 治

主 要 事 業



神戸垂水ロータリー ソング

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| (1) 間近に浮かぶ 淡路島 | (2) いにしえ語る 五色塚 | (3) 世界に誇る 大橋と |
| 舞子の浜の 白砂に | 垂る水はしる 平磯に | 未来に架ける 友情を |
| 緑をいろどる 深緑 | 四季を織りなす ちぬの海 | 襲ねて映す 碧い海 |
| 心のつながり 園車かんで | 心のつながり 園車かんで | 心のつながり 園車かんで |
| 奉仕の誓い いや固し堅し | 友愛の絆 いや強し | 感謝の気持ち 美しく |
| 我等は 垂水ロータリアン | 我等は 垂水ロータリアン | 我等は垂水ロータリアン |

歴代R.I.会長ターゲット

年 度	R. I. 会 長 名	R. I. 会 長 指 針	R. I. 第268地区 ガバナー
1974—75	ウィリアム・ロビンス William R. Robbins	ロータリーの精神を振るい起こせ RENEW THE SPIRIT OF ROTARY	平 島 健次郎
1975—76	エルネスト・インバサイ・デ・メロ Ernesto Imbassahy De Mello	人間に威信を! TO DIGNIFY THE HUMAN BEING	小 西 喜代治
1976—77	ローバート・マンチエスタ Robert A. Manchester	“奉仕”ロータリーを私は信奉する “SERVICE” I BELIEVE IN ROTARY	松 井 弘 行 平 島 健次郎
1977—78	ジャック・デーヴィス W. Jack Davis	全人類を結びつけるために奉仕せよ SERVE TO UNITE MANKIND	安 福 武之助
1978—79	クレム・レノウフ Clem Renouf	手をさし伸べよう…… REACH OHT……	執 行 孝 胤
1979—80	ジェームス・ボーマ James L. Bomar, Jr	奉仕の灯で道を照らそう LET SERVICE LIGHT THE WAY.	多 胡 檣 祐
1980—81	ロルフ・クレアリッヒ Rolf J. Klarich	時間を捧げよう奉仕のために TAKE TIME TO SERVE.	今 井 鎮 雄
1981—82	スタンレー・マーキヤフリー Stanley E. Mecaffrey	ロータリーを通じて世界理解と平和を WORLD UNDERSTANDING AND PEACE THROUGH ROTARY	坂 本 智 元
1982—83	向 笠 広 次	人類はひとつ、世界中に友情の橋をかけよう MANKIND IS ONE—BUILD BRIDGES OF FRIENDSHIP THROUGHOUT THE WORLD	岩 堀 通 夫
1983—84	ウィリアム・スケルトン William E. Skelton	みんなにロータリーをみんなに奉仕を SHARE ROTARY—SERVE PEOPLE	森 滋 郎
1984—85	カルロス・カンセコ Carlos Canseco	見つけよう奉仕の新生面 DISCOVER A NEW WORLD OF SERVICE	辻 忠 夫
1985—86	エドワード F. カドマン Edward F. Cadman	あなたが、鍵です You are The Key	金 子 太 郎
1986—87	M.A.T.カパラス M.A.T. Caparas	ロータリーは希望をもたらす Rotary Brings Hope	坂 田 元 記

歴代R. I.会長ターゲット

年 度	R. I. 会 長 名	R. I. 会 長 指 針	R. I. 第268地区 ガ バ ナ ー
1987—88	チャールズC. ケラー Charles C. Keller	ロータリアン-奉仕に結束-平和に献身 ROTARIANS-United in Service-Dedicated to Peace	内 藤 尚 武
1988—89	ロイス・アビー Royce Abbey	ロータリーに活力を-あなたの活力を PUT LIFE INTO ROTARY-YOUR LIFE	神 木 董
1989—90	ヒューM. アーチャー Hugh M. Archer	ロータリーを楽しもう！ ENJOY ROTARY！	飯 尾 精
1990—91	パウロV.C. コスタ Paulo V.C. Costa	ロータリーを高めよ-思いを尽くし 熱意を尽くし HONOR ROTARY-With Faith and Enthusiam	深 川 純 一
1991—92	ラジェンドラ K. サブー Rajendra K Saboo	自分を越えた眼を Look Beyond Yourself	奥 村 孝
1992—93	クリフ・ダクターマン Cliff Dochterman	まことの幸福は、人助けから Beal Happiness is Helping Others	空 地 啓 一
1993—94	ロバート R. バース Robert R. Barth	行動に信念を-信念は行動に Believe in What You Do - Do What You Believe in	石 井 澄
1994—95	ビルハントレー Bill Huntley	友達になろう BE A FRIEND	計 馬 忠
1995—96	ハーバート G. ブラウン Herbert G. Brown	真心の行動 自愛の奉仕 平和に挺身 Act with Integrity Serve with Love Work for Peace	松 岡 通 夫
1996—97	ルイス W. ジアイ Luis V. Giay	築け未来を 行動力と先見の眼で Build the Future with Action and Vision.	田 中 毅
1997—98	グレン W. キンロス Glen w. kinross	ロータリーの心を Show Rotary Cares	松 下 克 巳
1998—99	ジェームス L. レーシィ James L. Lacy	ロータリーの夢を追い続けよう Follow Your Rotary Dream	谷 水 清 司
1999—2000	カルロ. ラピッツァ Carlo Ravizza	ロータリー 活動は-堅実、信望、持続 Rotary 2000 act with Consistency Credibility Continuity	米 谷 収

歴代会長・幹事

1974年～1975年度	会長	花房安一	幹事	吉川弘治
1975年～1976年度	会長	花房安一	幹事	吉川弘治
1976年～1977年度	会長	中沢啓二	幹事	楯川帝次郎
1977年～1978年度	会長	南泰吉	幹事	平岡康民
1978年～1979年度	会長	高木正徳	幹事	藤本芳彦
1979年～1980年度	会長	岡田弘三郎	幹事	横山拓治
1980年～1981年度	会長	平岡康民	幹事	森田卓
1981年～1982年度	会長	吉川弘治	幹事	木場寿男
1982年～1983年度	会長	日下部紀一郎	幹事	増田俊孝
1983年～1984年度	会長	藤原忠	幹事	新井賢一
1984年～1985年度	会長	村井正明	幹事	杉本樹祐
1985年～1986年度	会長	小倉良知	幹事	吉田安廣
1986年～1987年度	会長	藤本芳彦	幹事	森本英明
1987年～1988年度	会長	吉田欣也	幹事	藤本典彦
1988年～1989年度	会長	山崎良磨	幹事	春名敏男
1989年～1990年度	会長	新井賢一	幹事	斎藤守正
1990年～1991年度	会長	森田卓	幹事	吉田光晴
1991年～1992年度	会長	安田俊吉	幹事	坂井吉富
1992年～1993年度	会長	増田俊孝	幹事	水谷裕昂
1993年～1994年度	会長	坂井吉富	幹事	出口正志
1994年～1995年度	会長	平岡康民	幹事	田中教仁
1995年～1996年度	会長	山中勉	幹事	松木真志
1996年～1997年度	会長	橋本惇	幹事	善國高豊
1997年～1998年度	会長	出口正志	幹事	塩谷英司
1998年～1999年度	会長	藤本典彦	幹事	永田哲也
1999年～2000年度	会長	田中彰	幹事	由良博

1986～1987年度地区年次大会 委員長の回想

大会委員長 岡 田 弘三郎

当時の年次大会ホストクラブ決定の習慣は、坂田ガバナー在籍の神戸須磨R.C.が最初にスポンサーされた神戸垂水R.C.がお引受けすることになっていました。

理事会で同委員長にご推挙いただいたのは前年度小倉会長の年で、実行したのは藤本芳彦会長の年、大変光栄に思い最善を尽くそうと決心しました。藤原副委員長、吉川幹事、小倉S.A.A.、平岡登録、花房信任状各委員長等歴代のクラブ会長と相談し、皆さんの木目細かいご指導ご協力によって大過なく重責をはたせました。そして、クラブの一業績とし得たこと感謝にたえません。

坂田ガバナーが再々のお運びにて礼を尽していただいたこと、記念講演は紆余曲折の後にノーベル化学賞の福井謙一先生にお願いしたこと、三日間の大会を通じて全会員が、各自の目立たない分担まで文字通り献身的努力を重ねて下さったこと、又一方ゴルフ関係は神戸西神R.C.、外部の交通駐車関係は神戸須磨北R.C.のご苦勞による好印象も加わり、大会を大成功させて下さったこと等、總て有難くなつかしく回想しております。

まことに有難うございました。



「区民講座第一回開催の思い出」

安 田 俊 吉

ロータリークラブは奉仕の精神を基本にしなければならないと、耳に螞蛉のように聞かされている。なかでも社会奉仕にはウエイトを置いているようだ。小倉さんが会長で、私が社会奉仕委員長の時、区民を対象に講演会を開いたら社会奉仕になるからやろうと言う意見が出された。他のクラブでもやっているようであまり新機軸とは言えないが、時計台や交通表示などの寄付は陳腐に思えるし、区民講座は垂水ロータリークラブとしては存在観を高めるために良い企画だと、会員の大方の人は賛成した。社会の話題としては青少年の非行が問題視されており、トレンドイだとするので、「教育問題」をテーマにして、甲南女子大学の鯨坂二夫学長を講師としてお招きし、「教育の原点に立って」という標題で、講演して頂く事にした。

垂水厚生年金会館大ホールを会場とし、少なくとも300人以上の聴衆を集めなければ格好がつかないと言うので、ビラをつくり学校PTA、婦人団体や老人クラブに配布して、動員につとめた。

当日、会員は会場の閑散となることを心配して、奥さんも動員して出てきてくれた。しかし、案ずるより生むはやすしで、500人入る会場は一般区民でほぼ一杯になった。お土産にしたボールペンが足りなくなったと思う。この第一回の区民講座以来、毎年これは垂水ロータリークラブの年中行事として続いており、小倉会長の業績として高く評価されている。

第1回 1986年5月10日

「教育の原点に立って」甲南女子大学学長 鯨 坂 二 夫

委員長 安 田 俊 吉

第2回 1987年6月19日（金）

「お年寄りの心の健康」神出白鷺サナトリウム院長 高 野 秀 勝

委員長 吉 川 弘 治

第3回 1988年5月7日

「21世紀を担う子供達に」加古川市教育長 松 岡 弘 宗

委員長 吉 田 安 廣

第4回 1989年5月14日

「花作りあれこれ」兵庫県立農業技術センター 藤 岡 作太郎

委員長 飯 田 英 夫

第5回 1991年5月26日 委員長 村 井 正 明

「鋭一のいいたい放題」参議院議員 中 村 鋭 一

第6回 1992年5月30日 委員長 山 崎 良 磨

「高齢化社会への対応」—老人性痴呆について— 岡 村 直 彦

「シンポジウム —21世紀に向かって高齢化社会を考える—」

吉 田 欣 也、堀 江 利 典、梶 真 澄、吉 田 鉄 也

第7回 1993年5月8日 委員長 中 野 守

「みんなで考えよう」高齢化時代の生きがいと健康」

兵庫県社会福祉審議会委員 梶 真 澄

神戸女子短大教授 浅 野 晶 子

垂水区連合婦人会長 杉 山 力 子

神戸市民生局高齢福祉部長 酒 井 昭 夫

安 田 俊 吉

第8回 1994年5月7日 委員長 森 田 卓

「サンコンのアフリカ話」オスマン・サンコン

プロバスクラブ(ちどり会)設立の思い出

1990～1991年度

会 長 森 田 卓

当クラブの1990～1991年度の活動計画の一つとして、地域の高齢者対策の一環としてプロバスクラブの設立が理事会にて決議され、プロバスクラブの設立準備委員会が設置され社会奉仕委員会と合同でこれにあたることとなりましたのが90年11月でありました。

爾来、両委員会の皆様方の積極的な活動と当クラブ会員の皆様方のご理解あるご協力に依りまして僅か8ヶ月という短い期間で91年6月12日（水）全国で3番目のクラブとして垂水プロバスクラブ（ちどり会）が、創立会員21名で、垂水の地に産声をあげることが出来ました。

御指導戴きました深川純一ガバナー始め関係の皆様方特に先輩であります神戸北ロータリークラブ、すずらんプロバスクラブの皆様方のご厚情に対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

このようにして発足致しました“ちどり会”は現在、会員数は28名で舞子ビラ六甲の間を例会場として、毎月第2水曜日午後1時より例会を開催され、プロバスクラブの主旨に則した活動を楽しく活発にされておられます。

例会に出席させて戴いて会員の皆様方の、和やかにそして楽しそうに話合われているお姿に接します時、その喜びは一人のものを感じております。

このようによいクラブをお世話することが出来ました記念すべき年に会長をさせて戴いた幸せに感謝申し上げます。

垂水プロバスクラブ（ちどり会） 設 立 総 会

日 時 1991年6月12日（水）13：00～14：30

場 所 舞子ヴィラ 新館1階 大歳の間

式 次 第

司 会 プロバス副委員長 吉 田 欣 也

一、開会のことば		副会長	木 場 寿 男
一、挨拶	神戸垂水ロータリークラブ	会 長	森 田 卓
一、祝 辞	国際ロータリー第268地区	ガバナー	深 川 純 一
一、祝 辞	神戸市垂水区	区 長	阿久津 成一郎
一、挨拶	垂水プロバスクラブ（ちどり会）	代表世話人	西 山 圭 一
一、記念品贈呈	神戸垂水ロータリークラブ	社会奉仕委員長	村 井 正 明
一、設立経過報告	神戸垂水ロータリークラブ	プロバス委員長	吉 川 弘 治
一、会員紹介	垂水プロバスクラブ（ちどり会）	代表世話人	西 山 圭 一
一、記念講演	神戸北ロータリークラブ	元会長	木 元 武
一、記念写真撮影			
一、乾 杯	国際ロータリー第268地区	社会奉仕委員長	謝 坤 蘭
一、閉会のことば	垂水プロバスクラブ（ちどり会）	世話人	小 野 一 郎



1993～'94年度神戸第2分区 I.M.を開催して

神戸第2分区代理 吉川 弘 治

1993～'94年度神戸第2分区代理としてI.M.を1994年2月6日（日）神戸国際会議場、ポートピアホテルで石井ガバナーをはじめ多数のパストガバナー、分区内7クラブは全員登録、分区外からも併せて多数のご参加をいただき盛大に開催することが出来ました。

2月はロータリーの世界理解月間でもあり、世界状況が外交的にも、経済的にも、又、奉仕の面でも国境が無くなり、すべてのことが地球規模で考えられ、そして行なわれるようになって来ました現状をふまえ、I.M.のテーマを、グローバリゼーション“GLOBALIZATION”（地球化）を主眼にプログラムを組み、第一部は米山奨学生と在神外国人による「ちょっとひとこと日本に、そしてロータリーに」第二部は神戸大学大学院教授ロニー・アレキサンダーさんに「WHAT IS GLOBALIZATION?」と題して講演をいただき、参加者全員であらためて世界状況を認識し、一番肝心なものは、心のグローバリゼーションであり、インターナショナルの活動が、日本の中でも、世界の中でも大きな役割を果たして来た私達に期待がかかっていると感銘させられた内容でした。

小倉実行委員長はじめクラブ会員全員によるご協力の賜物と深く感謝申し上げます。



インターアクトクラブ創立によせて

元会長 坂 井 吉 富

菊香る本日、めでたく待望のインターアクトクラブ創立総会を迎えられ心よりお祝い申し上げます。

阪神大震災の若者のボランティア活動は社会に大変な感動感銘を与えました。

神戸国際大学附属高校生の心豊かな皆さんにより、クラブが結成され奉仕の実践に取り組まれますことは誠に喜ばしい限りであります。

関係各位のご努力に感謝し、貴インターアクトクラブの益々のご発展を心より祈念申し上げます。

神戸国際大学附属高等学校インターアクトクラブ 創 立 総 会

日 時 1995年11月23日（木）午前11時

場 所 神戸国際大学附属高等学校会議室

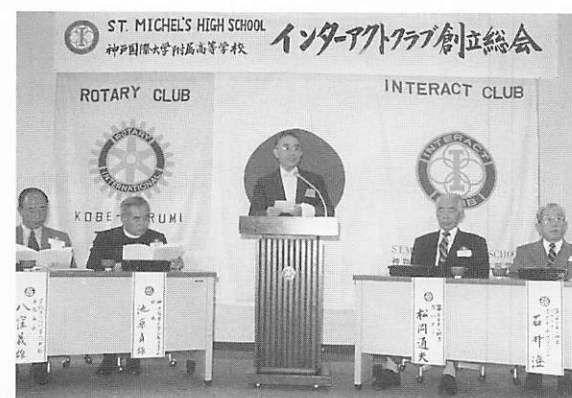
式 次 第

司 会 神戸垂水ロータリークラブ 副会長 吉 荒 勇

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|---------|
| 1. 開会〔点鐘〕 | 神戸国際大学附属高等学校
インターアクトクラブ会長 | 安 部 敏 明 |
| 2. ロータリーソング〔奉仕の理想〕インターアクトソング | 唱歌副委員長 | 藤 本 典 彦 |
| 3. 開会の辞 | 神戸垂水ロータリークラブ
インターアクトクラブ設立実行委員長 | 村 井 正 明 |
| 4. スポンサークラブ会長来賓紹介及び挨拶 | 会 長 | 山 中 勉 |
| 5. 校長挨拶 | 校 長 | 池 原 貞 雄 |
| 6. インターアクトクラブ会員紹介 | 教務主任 | 高 山 芳 樹 |
| 7. インターアクトクラブ会長創立の決意 | インターアクトクラブ会長 | 安 部 敏 明 |
| 8. 来賓祝辞 | R.I.2680地区ガバナー | 松 岡 通 夫 |
| | 青少年奉仕委員長 | 井 奥 寛 泰 |
| 9. 食 事 | | |
| 10. 閉会の辞 | 前 会 長 | 平 岡 康 民 |
| 11. 閉会〔点鐘〕 | インターアクトクラブ会長 | 安 部 敏 明 |
| 12. ロータリーソング〔手に手つないで〕 | 唱歌委員長 | 田 中 彰 |
| 13. 記念写真 | | |

インターアクトクラブ会員名簿

顧 問	澤 江 由 奈	副会長	中 山 賢 司	理 事	前 田 信 介
〃	山 下 義 則	幹 事	後 藤 誠 一	〃	藤 本 雅 樹
会 長	安 部 敏 明	会 計	武 田 晃 典	〃	武 本 裕 次



1999～2000年度神戸第2分区 I.M.を開催して

神戸第2分区代理 山 崎 良 磨

皆さんこんにちは、昨日までの厳しい寒さが嘘のようなポカポカした暖かい日でございます。誠にI.M.日和となりました。本日は森滋郎パストガバナーをはじめ多くのご来賓の方々、そして全員登録・全員出席を目標にご出席いただきました神戸第2分区のロータリアンの皆様、プロバスクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー財団奨学生OGの方々など、多数ご出席くださりましてありがとうございます。

本日のI.M.は、ゼネラルリーダーといたしまして神木董パストガバナーの親切丁寧なご指導のもと、吉川I.M.実行委員長を中心に、神戸垂水ロータリークラブの皆様がいろいろ案を練り上げてくださりまして、本日を迎えることができました。たいへんご苦労様でした。垂水ロータリークラブの皆様に心よりお礼申し上げます。本日一日どうぞよろしくお世話をお願いいたします。

先の大戦後、我国は世界最低の国家となりましたが、我々の先輩の方々や同年代を生きた仲間等、そしてもう少しお若い世代の方々の懸命の努力により、世界第2位の経済大国となりました。確かに豊かになりました。しかし、ミレニアムを迎えるにあたり、政治・経済・情報・環境・教育等、様々な面で問題が蓄積していることは、皆様ご承知のとおりでございます。これらの問題を全部取り上げることは不可能でございますので、本日のI.M.では「教育問題と世代間交流」にスポットを当てることといたしました。

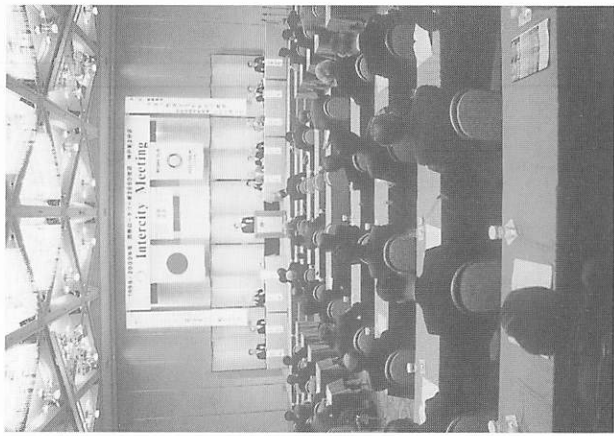
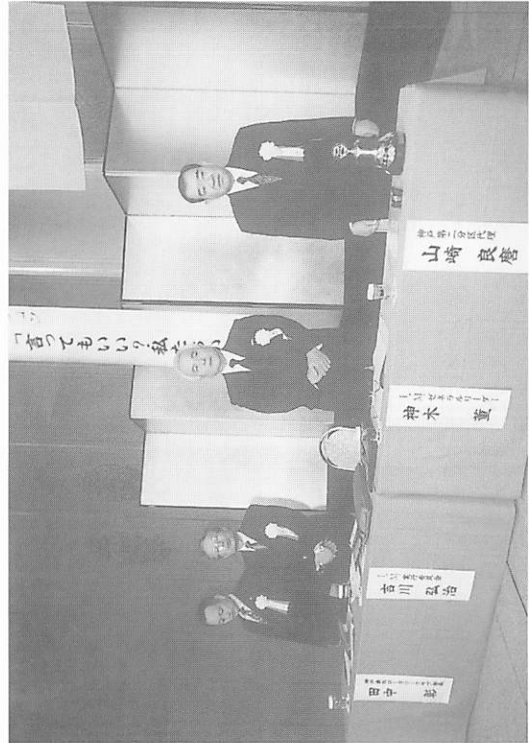
第1部基調講演では、育英高校の石井校長に「戦後我国の教育界がたどった足跡」と現在の教育の現場の状況を先生独特の切り口をもって話し願い今後21世紀に向けて「我々は何を成さねばならないか」「若い方に何を伝えていかねばならないか」をお話しいただくことになっております。

第2部といたしましては、第2分区内のいろいろなゼネレーションの方々7人にパネリストとしてご登場願ひまして、各々の主義・主張をズバリズバリと語っていただくことにいたしました。従いまして、発言は教育問題にとどまらず多方面に渡ると考えられますので、台本は作成せず、会場からの発言も加わりましてコーディネーターも分区代理も結論を知らない「シナリオなきドラマ」を実現したいと考えております。どうぞ皆様、お楽しみになさってください。

I.M.には、決議や結論は必要ありません。ここに集まっていたいた皆様、一つでも二つでも、宿題として問題を持ち帰られましてこれからの教育や世代間交流はどうあるべきかを考えていただければ本日のI.M.を企画しました分区代理として最上の喜びでございます。最後になりましたが、米谷ガバナーは重要な会議がございますそうで本日は欠席でございます。「皆様に、くれぐれもよろしく」とのことでございます。3月10日・11日の地区大会には「是非、限りなく100%に近い方々が出席くださるようお願いしてください」という伝言でございます。

また、各会長様に配付されたと存じますが「1999—2000年度会長賞」、「R.I.意義ある業績賞」「R.I.広報賞」など本年もいろいろな賞がございますので、各クラブとも挑戦をお願いいたします。

懇談会まで長時間になりますが、皆様最後までよろしくお付き合いくださいますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。



記念事業実行委員会

実行委員長 小 倉 良 知

R.I.創立75周年記念事業は1979年、R.I.本部より世界各地のR.C.では何らかの形で奉仕に係る記念事業を行うよう要請があり、当クラブでも各会員の拠出金によりその為の基金を貯めていたが、適当な事業を模索している内に時間が経過してしまった。1992/93年度増田会長の時代になって、この事業につき原点に戻りR.I.の趣旨に則った事業を考え実行するよう不肖私に記念事業実行委員長としてやるよう委嘱があった。

このような大役は逆も私だけでやれる事は不可能で、副委員長に吉田（欣）君、委員に吉川、山崎、中野の3君をお願いし、当委員会は1992年11月に発足した。1993年1月にはクラブフォーラムを行いそこで奉仕活動の選択肢を数多く用意し、即ち心身障害者では在宅ケアの為の自動車一式、視覚障害者では盲導犬10頭、文化及芸術面ではレバンテ図書館への図書青少年ではあしなが基金への協力や発達障害児の療育教室、世界社会奉仕では留学生への奨学金、老人では痴呆老人托老所などを提示し会員の皆様に図った。そして最終的に記念事業は盲導犬10頭の贈呈に決めて頂いた。

直ちに実行に移り毎月1回～2回の委員会を持ち現在4頭目迄の贈呈を終った。当初計画では2年以内に10頭という目標であったが犬と人間の合性の問題もあり、仲々計画通りに進んでいないのが現状である。

この事業は副委員長始め委員の皆様方の絶大なご協力と会員全員のご理解がなければ実行出来なかったことで、今改めて夫々の皆様に心より感謝申し上げる次第である。

垂水ロータリークラブご寄贈盲導犬一覧表				
号数	盲導犬名	貸与者	貸与日	住所
1号犬	エース♀	仲佐 艶子さん	93. 6.11	西宮市
2号犬	ハティー♀	清水 幸代さん	94. 2.11	赤穂市
3号犬	ハノン♀	仁枝 玲子さん	94. 3.25	西宮市
4号犬	ジュディー♀	松尾 貢さん	94. 6.22	浜坂町
5号犬	モネ♀	島田 剛さん	95. 2.16	神戸市
6号犬	シルドラ♀	中田 義明さん	95.12.15	西宮市
7号犬	ウインク♀	斎藤 晃司さん	96. 9.26	三田市
8号犬	サラ♀	山渕 和枝さん	97. 2. 5	明石市
9号犬	ヴィヴィアン♀	森 千代美さん	97. 3. 1	神戸市
10号犬	イブ♀	澤 雄一さん	97. 4. 7	神戸市

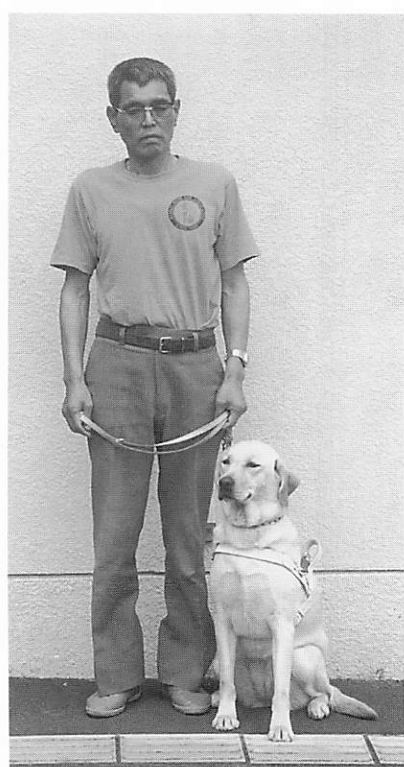
※国際ロータリー創立75周年記念事業（盲導犬10頭貸与）完了披露会
1997年5月31日（土） 於：舞子ビラ



1号犬 エース号



2号犬 ハティー 清水 幸代さん (左)
3号犬 ハノン 仁枝 玲子さん (右)

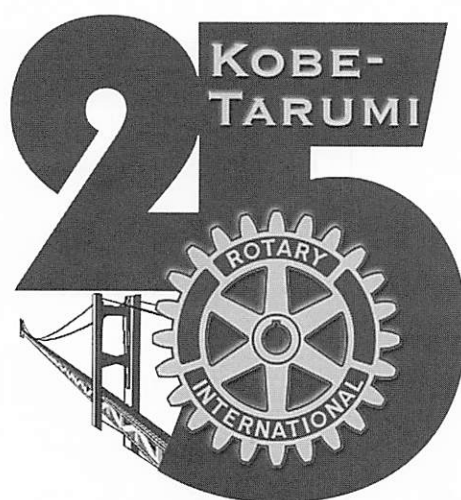


4号犬 ジュディー
松尾 貢さん



25年の歩み

1985～1999



1985～1986年度

会 長 小 倉 良 知
幹 事 吉 田 安 廣

ロータリーの主要な目的の一つとして親睦を深めるというのがある。私が会長を仰せつかって考えた事は日本のR.C.の例会時間は欧米のそれに較べると極めて短くたった一時間、その間にビジター紹介、食事、会長、幹事、委員会、出席、ニコニコ箱報告、その上歌まで唱はねばならぬ。逆も食事の間にゆっくり会員同志談笑している余裕はない。そこで歴代会長（他のクラブでも、そして処によっては会長の時間なるものまである）のように会長が喋っている時間を可能な限り短くし必要最低限の会務報告だけにして、その時間を食事のときの談笑に費して頂くことにした。従って会長として今日は何を話そうかなど前以て考える必要はなく一挙両得であったと思っている。

組閣人事については多くの方々から私がやりましょうと申出があり全く無難に組閣出来た事は今以て心より有難いと思っている。

特に故日下部紀一郎君は会計をやらせるそして今迄のやり方を改革するのだ、とこの大役を買って出て頂き、例えばクラブの公式行事で出張の際の旅費などはクラブ負担(今迄は当事者負担)にするなど数々の会計運営上の改革をして頂いた。又例会時の足の入りにくい角テーブルを丸テーブルに変えたのも同君の経理操作によりその費用を捻出、そのテーブルは今でも垂水R.C.専用として例会の都度使っている。

更に故高木正徳君は青少年奉仕委員とプログラム委員として同君の発案によりこの年度から区民講座をスタートする事になり、これが恒例となり現在迄続いている。

当時を回顧するに当り既に故人となられたご両人のご冥福を祈る。 (以上)

小 倉 良 知

(週報に「移情閣」「職業奉仕ミニ情報」欄を設け会員の協力を得て掲載した。)

主 な 行 事

- | | | | |
|-------|--------|------------------------------------|------------|
| 1985年 | 8月10日 | 花房会員宅にてガーデン納涼家族会開催 | 会員家族 42名参加 |
| | 9月15日 | 特別養護老人ホーム「萬寿園」へ、ハンドマット120枚寄贈 | |
| | 10月20日 | 秋の家族会 松茸狩(氷上町) | 21名参加 |
| | 11月28日 | 高木会員 勲四等旭日小授章受賞(教育及び社会貢献) 祝賀会(神仙閣) | |
| | 30日 | 事務局 荒木さん10年勤続祝い | |
| | 12月21日 | クリスマス家族会例会 舞子ビラ | 会員家族 40名参加 |
| | 28日 | 大野宣夫君(機械器具配布) 入会 | |
| 1986年 | 2月10日 | 不要衣料品等をアフリカのルワンダR.Cへ難民救済の為発送 | |
| | 17日 | 春名敏男君(不動産管理) 入会 | |
| | 22日 | 石川貞雄君(パッキング製造配布) 入会 | |
| | 3月14日 | 基隆東R.C.会員、同夫人総勢17名来神、舞子ビラで歓迎会開催 | |
| | | | 会員家族 22名参加 |
| | 22日 | コスモス少年少女合唱団を助成の為寄附金贈呈(第1回目) | |
| | 4月25日 | 基隆東R.C.創立9周年記念式典並びに姉妹提携継続式典に小倉会長他 | 10名出席 |
| | 28日 | 竹崎敏夫会員逝去 | |
| | 5月10日 | 第1回区民講座開催 於、垂水年金会館大ホール | |
| | | 講師、甲南女子大学学長 鰐坂二夫氏 演題、『教育の原点に立つ』 | |
| | | 参加者、200名 これは区民講座の、はしりなるも当時は講演の集い、 | |
| | | と呼んでいた。 | |
| | 12月21日 | 会員家族 | 30名出席 |



1985～1986年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	小 倉	良 知	幹 事	吉 田	安 廣	副S.A.A.	杉 本	樹 祐
副 会 長	(理 事)	吉 田	欣 也	幹 事	藤 本	典 彦	副S.A.A.	桶 川	次 郎
理 事	(職業奉仕)	木 下	光 徳	会 計	日 部	紀 一郎	副S.A.A.	中 山	勉 夫
理 事	(社会奉仕)	安 田	俊 吉	会 計	高 村	廣 弘	副S.A.A.	大 野	宣 敏
理 事	(国際奉仕)	増 田	俊 孝	監 査	吉 川	伊 藤	副S.A.A.	春 名	
理 事	(会長バナー)	藤 本	芳 彦	S. A. A.	山 崎				
理 事	(直前会長)	村 井	正 明	副S.A.A.	伊 藤				



1986～1987年度

会 長 藤 本 芳 彦

幹 事 森 本 英 明

当年度は年次大会に終始したと言っても過言ではない。

3月13日より3日間、ポートピアホテル、神戸国際会館で開催され、岡田大会委員長を中心にして、再三再四協議を重ね、分刻みのスケジュールを立て、全会員が一致団結し坂田元記ガバナーのもと、クラブあげてこのイベントに取組んだことは、未だ記憶に新しい。

ダークダックス、その他のアトラクションも、楽しいプログラムであったが、ロータリーの原点とも言える、「職業奉仕あれこれ」を取り上げたい。職業奉仕はロータリーにとって金看板であるが、昨今の貿易摩擦、円高、後進国の追い上げ等々の背景で、日本経済は正に重大な岐路に直面しているが、職業奉仕を行う為には、企業の健全性が必須条件とされる。職業奉仕初期の思考は、「売り手と買い手の信頼関係」であった。

しかし乍ら、時代の変革と共に、異業種相互の技術交流、情報交換等々、単に日々の奉仕にのみライトをあてるだけでなく、百年の計を持つた、そして未来をみつめた職業奉仕でなくてはならない、という主張が深く印象に残った。

藤 本 芳 彦

主 な 行 事

◎週報に毎回会員から「私の職業奉仕」を連載した。

- | | | | |
|-------|-----|-----|---|
| 1986年 | 7月 | 27日 | 環境保全（委）主催にてボーイスカウトと協力して
垂水海岸清掃を実施。 出席者：会員16名、ボーイスカウト173名 |
| | 9月 | 13日 | 観月家族例会。於：六甲オリエンタルホテル
会員23名、家族他4名 |
| | | 27日 | ガバナー公式訪問。（坂田ガバナー、柴原地区幹事、高野分区代理） |
| 10月 | 11日 | | 松茸狩り 氷上郡春日町 会員家族 31名参加 |
| 11月 | 1日 | | 春名昭三君（土木工事）入会 |
| 12月 | 6日 | | 森田昌作君（都市銀行）入会 |
| | | 20日 | クリスマス家族会を開催。 於：舞子ビラ春秋の間 参加者97名 |
| | | 27日 | R財団奨学生を囲む会を開催。於：お可川 |
| 1987年 | 2月 | 7日 | R財団奨学生合格内定通知。（稲子あゆみさん、遠藤マリさん） |
| | | 28日 | 年次大会各委員会開催。於：例会場他 |
| | | 28日 | 斎藤守正君（事務用品配布）入会 |
| | 3月 | 14日 | R.I.第268地区年次大会 全員登録。（ホスト：神戸垂水R.C.） |
| | | 15日 | 大会第2日目 全員登録。 |
| | | 15日 | 基隆東R.C.歓迎会並びに年次大会慰労会開催。
出席者：基隆東R.C.10名、林同春氏、当クラブ48名 |
| | 4月 | 25日 | 鈴木十郎君（通信事業）入会 |
| | 5月 | 16日 | 移動例会「新人会員歓迎会」。於：ふじ
出席者：会員28名 夫人他10名 |
| | 6月 | 19日 | 第2回「区民講座」（お年寄りの心の健康）開催。
講師 高野秀勝氏（神戸北R.C.） 於：垂水水産会館 |
| | | 26日 | アフリカへ中古衣料 約130kg発送
日本キリスト教海外医療協会へ使用済切手 2kg送付 |



1986～1987年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	藤 本 芳 彦	幹 事	森 本 英 明	副S.A.A.	古 水 谷 好 造
副 会 長	(理 事)	新 井 賢 一	副 幹 事	水 谷 裕 昂	副S.A.A.	古 水 谷 好 造
理 事	(職業奉仕)	河 吉 陸 弘	会 計	藤 高 村 典 彦	副S.A.A.	古 水 谷 好 造
理 事	(社会奉仕)	橋 本 治 惇	副 会 計	花 房 廣 安 一	副S.A.A.	古 水 谷 好 造
理 事	(国際奉仕)	吉 田 欣 也	会 計 監 査	小 倉 良 知 彦	副S.A.A.	古 水 谷 好 造
理 事	(会長バニ-)	吉 田 欣 也	S. A. A.	小 倉 良 知 彦	副S.A.A.	古 水 谷 好 造
理 事	(直前会長)	吉 田 欣 也	副S.A.A.	小 倉 良 知 彦	副S.A.A.	古 水 谷 好 造



1987～1988年度

会 長 吉 田 欣 也
幹 事 藤 本 典 彦

会長にノミネイトされると嫌でもロータリーのことを考える。さまざまな委員をやり、委員長も務め理事もやって、それぞれの活動文弥物野を経験して居ても、さて会長となるとその責務を考えて、多少ともでも不安や緊張を感じない人は居なかったのではないのでしょうか。しかし又1年会長をやると違った事が見えて来て、勉強になります。

「駕籠に乗る人、かつぐ人、その又わらじを作る人」という事がロータリークラブでは会長が駕籠に乗る人か、わらじを作る人か解らない所が又面白いですね。

ロータリークラブの機構は全く良く出来ているナと今でも時々感心しています。

そしてロータリークラブの原点は倶楽部であり、メンバーがお互い仲が良く楽しい事が大切だと思って居ります。

吉 田 欣 也

(毎週週報に「私の職業奉仕」欄を掲載)

主 な 行 事

1987年	7月 5日	垂水海岸清掃 (雨天中止)
	8月 15日	早朝例会 (8時～9時)を行う。
	22日	ガバナー公式訪問。 (内藤ガバナー、中條地区幹事、西川分区代理)
	9月 5日	R財団奨学生合格内定通知 (稲子あゆみさん、松下美樹さん) 岡田会員カウンセラーとして委嘱。
	12日	観劇家族会 大阪新歌舞伎座 会員家族 38名
	10月 11日	松茸狩 於：氷上郡春日町 会員・家族31名
	17日	深水 昭君 (外科医)・永原隆嗣君 (縫製業) 入会
	11月 21日	新入会員歓迎会 元町牡丹園 会員・家族47名
	12月 19日	クリスマス家族例会。於：舞子ビラ春秋の間 会員・家族84名
1988年	4月 16日	米山奨学生世話クラブ並びにカウンセラー決定 アフナール君 25才 (インドネシア国) 職業、漁業 カウンセラー：石川貞雄君
	16日	田中 彰君 (鋼製バネ製造) 入会
	29日	基隆東R.C.友好訪問、創立11周年記念例会に出席 9名参加
	5月 7日	第3回「区民講座」(21世紀を担う子供達にー 今母親は何をすべきかー) 開催。 講師：加古川市教育長 松岡弘宗氏 於：垂水小学校講堂 参加者：73名 (会員16名)



1987～1988年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	吉 田 欣 也	幹 事	藤 本 典 彦	副 S.A.A.	横 山 拓 治
副 会 長	(理 事)	楯 川 帝 次 郎	副 幹 事	大 野 宣 夫	副 S.A.A.	磯 田 武 孝
理 事	(職 業 奉 仕)	平 岡 康 民	会 計	大 橋 本 昌 作	副 S.A.A.	増 田 俊 裕
理 事	(社 会 奉 仕)	吉 田 安 廣 男	副 会 計 監 査	森 田 下 光 芳	副 S.A.A.	水 谷 裕 昂
理 事	(国 際 奉 仕)	木 場 寿 良 磨 彦	S. A. A.	藤 本 芳 彦		
理 事	(会 長 ハニ-	山 崎 良 磨 彦				
理 事	(直 前 会 長)	藤 本 芳 彦				



1988～1989年度

会 長 山 崎 良 麿
幹 事 春 名 敏 男

会長在職1年間、春名幹事さん始め各理事、委員長さんの御協力によりなんとか平穏無事に務めさせていただきました。それでも色々な事がありました。昭和天皇の御不快、御崩御は私共にとりまして大きな衝撃でありました。御病気が長期にわたりましたので親睦委員会の活動も常に二本立てを考えて立案していただき、又御崩御の日が例会日と重なったため急遽「大行天皇を偲ぶ会」例会を行いました。又永年の懸案でありました特別記念事業も垂水RC記念館を購入する事に大勢が傾いておりましたがその後方向転換して当クラブ創立20周年の本年盲導犬贈呈運動として大きく花開きました。まことに喜ばしい事と思います。

委員会活動としましては、「私と職業奉仕文集の発行、盛況な市民講座、ラウンドテーブル、ファイヤーサイドミーティング、新入会員と語る会、嵐山吉兆への家族旅など一つ一つがほんの昨日のように楽しく思い出されます。

本年度は我々のクラブも20周年を迎えました。各委員長さんは「みんなのためになるかどうか」のみを考えて活動を展開し、各委員は全員でこれをサポートすれば、ややマンネリの傾向のある垂水RCも昔のように活力ある楽しいクラブに生れ変ると信じて止みません。

山 崎 良 麿

主 な 行 事

1988年	7月	3日	垂水海岸清掃（社会奉仕・環境保全・青少年活動委員会）出席24名 ラウンドテーブル（環境保全について）於ブラジル 出席16名
		9日	神戸少年少女合唱団コスモスへ10万円寄付
		23日	会員家族会「鮎狩り」滝野方面 出席32名
	8月	9日	兵庫県B.S. 振興財団維持会費10,000円 兵庫県心身障害児福祉協会へ寄付10,000円
		13日	早朝例会 足腰強化のためのトレーニング ゴルフ同好会コンペ 於垂水ゴルフ倶楽部
		17日	中野 守君 入会（広告代理業）
		11月 26日	創立14周年記念例会 筒井康隆元会員を迎えて
	12月	24日	善國高豊君（税理士）入会
1989年	1月	7日	例会「大行天皇（昭和天皇）を偲んで」 出口正志君（機械工場） 入会
		2月 16日	ファイヤーサイドミーティング 出席31名
	3月	4日	吉田光晴君（アパート経営）入会
	4月	25日	米山記念奨学生アフナール君送別会
		9日	観桜家族会 天の橋立へ
		22日	基隆東R.C.姉妹締結更新調印式 於舞子ビラ
	5月	14日	第4回区民講座 於垂水区医師会館「垂水を緑の街に」 ラウンドテーブル 於垂水医師会館 出席11名
		20日	坂上政義君（通信事業）入会



1988～1989年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	山 崎 良 麿	幹 事	春 名 敏 男	副S.A.A.	木 下 光 徳
副 会 長	(理 事)	森 本 英 明	副 幹 事	深 水 昭	副S.A.A.	石 川 貞 雄
理 事	(職業奉仕)	水 谷 裕 昂	会 計	藤 原 忠	副S.A.A.	大 野 宣
理 事	(社会奉仕)	飯 田 英 夫	副 会 計	森 田 昌 作		
理 事	(国際奉仕)	花 房 安 一	会 計 監 査	小 倉 良 知		
理 事	(会長バニー)	新 井 賢 一	S. A. A.	吉 田 欣 也		
理 事	(直前会長)	吉 田 欣 也				



1989～1990年度

会 長 新 井 賢 一

幹 事 斎 藤 守 正

創立20周年を迎えおめでとうございます。私が会長になって創立15周年を迎えましたが平穩無事に1年を終わることが出来ました。ヒュー・M・アーチャー会長のテーマ「ロータリーを楽しもう」を最大の目標にして、誠実と実行を基本理念として、役をひきうけたのですが、行動は思うようには捗らなかったと思います。花房会員を会計をお願いして予算改革を行った事、2月に例会日検討委員会を設置して例会日の曜日変更等いろいろ検討したのですが、ついに決定されないまま次年度へ申し送りとなってしまったことは私の力不足だったと思います。基隆東ロータリークラブの創立13周年記念例会に参加し飲めない酒（老酒）を乾杯・乾杯でしたたか飲まされたこと、又阿里山の素晴らしい日の出・夕焼けは深い印象を私に与えてくれました。いろんな問題もありましたが私なりに懸命に会長の任務を全うしたつもりでございます。今後の神戸垂水ロータリークラブの発展を、心からお祈り致します。

代 筆 斎 藤 守 正

主 な 行 事

1989年	7月 9日	垂水海岸清掃作業に参加 出席 11名
	17日	基隆東R.C歓迎会開催 於：神仙閣 基隆東R.C当クラブ会員20名出席
	10月 7日	ガバナー公式訪問。
	8日	神戸市重度心身障害児（者）父母の会瀬戸大橋日帰りの旅 協賛金 200,000円寄付 出席10名
	11月 25日	北川栄信君（都市銀行）入会
	4日	創立15周年記念例会 於：舞子ホテル
	12月 21日	クリスマス家族会 於：ホテルオオクラ神戸 出席74名
1990年	1月 21日	加古川平成R.C.認証状伝達式開催 於：加古川プラザホテル
	2月 24日	例会日検討委員会 設置開催
	26日	G.S.E.委員会 於：国際会館 出席 新井会長
	3月 10日	例会日検討委員会開催。
	31日	例会日検討委員会開催。
	4月 4日	G.S.E.ヘルマン、ベルナットさんを三菱重工へ案内
	14日	例会日検討委員会開催。
	27日	基隆東R. C創立13周年記念例会に参加 於：台湾 参加12名
	5月 19日	B.S.カブ隊に隊旗寄贈
	6月 16日	自立の家「ホーム塩屋」へ助成金 200,000円寄付



1989～1990年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	新 井	賢 一	幹 事	齊 藤	守 正	副S.A.A.	平 岡	康 民
副 会 長	(理 事)	増 田	俊 孝	幹 事	平 岡	康 一	副S.A.A.	出 口	正 志
理 事	(職業奉仕)	岡 藤	弘 三	会 計	花 房	安 寿	副S.A.A.	善 國	高 政
理 事	(社会奉仕)	木 本	典 彦	会 計	木 場	良 崎	副S.A.A.	坂 上	義 義
理 事	(国際奉仕)	森 下	光 徳	監 査	山 崎	良 崎			
理 事	(会長バニ-)	山 田	卓 磨	S. A. A.	横 山	拓 治			
理 事	(直前会長)	崎 良	磨						



1990～1991年度

会 長 森 田 卓

幹 事 吉 田 光 晴

浅学非才な私が栄誉ある第17代会長を評命致しまして、先づ心に誓ったことは自分は兎も角クラブに汚点だけは残してはならないと言う固い決意でありました。

ところが就任早々大変な問題が持ちあがりました。それは例会日変更の件でありました。

2、3年前より懸案でありました例会日変更について、諸般の情勢の変化から土曜日例会変更の機運が高まって来ており、前年度理事会に於て変更する件が決議され、本年度の総会に計ると云う事でありました。

早速総会を開催し討論を重ねましたが結論が出ず再度総会開催の結果、出席者29名中25名が原点に返って更に検討をすべく前理事会決議は残念ながら白紙に戻す結果となってしまいました。この件は就任早々の時期でもあり私にとっては大変なショックであり、全ての会員の賛同を得た上での理事会決議ではなかったのか……と大変残念でなりませんでしたがクラブの将来に於ての会員間の遺恨だけは残しては取り返しがつかなくなると思ひこの件はひとまづ時期尚早と云う事で先送りをせざるを得なかったのでありました。

活動面では各委員会夫々積極的に取組んで戴きよい奉仕活動の実践が出来たものと感謝致しております。とりわけ吉川プロバスクラブ設立準備委員長始め委員の皆様方の積極的な努力に依りましてプロバスクラブ（ちどり会）を全国第3番目のクラブとして誕生のお手伝いをする事が出来ました。

以上貴重な経験をさせて戴きました1年間でありますが会員の皆様方に支えられながら大過なく無事任務を全うする事が出来ました事は不肖私の一生の思い出として大切にしていきたいと存じております。

森 田 卓

主 な 行 事

- | | | |
|--------------|--|-------------------|
| 1990年 8月 2日 | ほろにが会開催 出席者：93名 | 於 国際会館 |
| 9月 16日 | 神戸市重度心身障害児（者）父母の会垂水支部会員96名
当クラブ11名にて花博見物を行い、200,000円を援助する。 | |
| 25日 | 坂井吉富君（公認会計士）入会 | |
| 10月 13日 | 船上観月家族例会・新入会員歓迎会 | 於 クィーン六甲 |
| | 神戸港遊覧 | 参加者：会員・家族79名 |
| 11月 10日 | 小林 徹君（歯科医）入会 | |
| 12月 22日 | クリスマス家族例会・新入会員歓迎会開催 | 参加者：80名
於 舞子ビラ |
| 1991年 3月 13日 | 基隆東R.C.と歓迎例会 | |
| 15日 | 春季家族会大相撲見物を開催 参加者：会員・家族その他40名 | 於 大坂府立体育館 |
| 5月 26日 | 「第5回区民講座」を開催 『鋭一のいいたい放題』 | 参議院議員 中村鋭一氏 |
| 6月 1日 | カンボジア難民救援物資として運動靴1万足を日本救援医療センターへ送付
職業奉仕月間 優良者表彰 | |
| 12日 | 垂水プロバスクラブ（ちどり会）設立総会開催
舞子ビラ新館大歳の間において、午後1時よりR.I.第268地区ガバナー深川純一氏、地区代表幹事松本和正氏、地区社会奉仕委員長謝坤蘭氏、神戸分区代理佐野修也氏並びに神戸垂水区長阿久津成一郎氏の各御来賓、それに上郡プロバスクラブ会長川本勲氏及び、すずらんプロバスクラブ代表桐井喜男氏もご出席いただき、神戸垂水R.C.会員も多数出席して開催された。 | |



1990～1991年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	森 田	卓	幹	事	吉 田	光 晴	S. A. A.	森 本	英 明
副 会 長	(理事・クラブ社)	木 場	寿 男	副 幹	事	吉 川	弘 治	副S.A.A.	藤 本	典 彦
理 事	(職業奉仕)	田 中	彰	会 計	計	善 國	高 豊	副S.A.A.	山 崎	良 磨
理 事	(社会奉仕)	村 井	正 明	副 会 計	計	北 川	栄 信			
理 事	(国際奉仕)	深 水	昭	会 計 監 査		藤 本	芳 彦			
理 事	(会長エレクト)	安 田	俊 吉							
理 事	(直前会長)	新 井	賢 一							



1991～1992年度

会 長 安 田 俊 吉

幹 事 坂 井 吉 富

私に会長にお鉢が回ってきたのは、私にとって唐突であり、幹事経験もないのに早すぎる気が大いにした。しかし、候補者選に難渋している様子が窺えたので、クラブの爲なら致し方ないと言う気持ちでお引受けすることにした。会長職はクラブの飾り道具で、運営の実務は幹事が取り仕切るものだと思っていたので、幹事選は慎重にした。細かいことに気を配ってくれる人でないと、私が大まかで人任せなところがあるので運営に支障があってはならないと、善国さんに白羽の矢を立てた。快く引き受けて頂いて、一安心と思っていたら、間際になって体調を悪くされ、入院ということになり困ってしまった。しかし、天の恵みか、坂井さんが穴埋めをかって出してくれることになり胸を撫で下ろすことが出来たのは今でも感謝をこめて思い出す。その坂井さんは私の次の次の会長を立派に務められた。

私はロータリークラブを人生のオアシスのように理解しており、あまり思い詰めたようなことは何もせず、心の和む気楽なクラブにしたいと思っていたので、「みんなで、気楽に、楽しいロータリー」という目標を掲げたが、あまり会員諸氏の共感はなかったようだ。

私の就任期間の出来事の主なものは、G S E (Group Stay Exchange) で村井先生がアメリカ女性をホームステイしてくれたこと。長崎・雲仙岳噴火があったこと。クラブのバナーを変えたこと。そして、会長幹事慰労会に遅れて、しかも既にしたたか酩酊しており会員の顰縮をかったこと等である。

安 田 俊 吉

主 な 行 事

第1回例会に、安田会長及び社会奉仕委員会4名が出席し、同クラブの発足を祝した。

- | | | | |
|-------|---------|--|--------------|
| 1991年 | 8月 24日 | 松田輝正君（通信事業）入会 | |
| | 9月 14日 | 神戸西神R.C.合同例会開催 舞子ビラ例会場 | 17：30～ |
| | | 懇親例会 舞子ビラ五色の間 | 参加69名 |
| | 10月 26日 | 吉荒 勇君（建設機械製造）入会 | |
| | 31日 | 秋の家族会及び新入会員歓迎会開催 | 参加者 会員、家族41名 |
| | | 場 所 ホテルオークラ神戸 | 34F |
| | 12月 21日 | クリスマス家族会開催 於 舞子ビラ | 18：00～ 88名参加 |
| 1992年 | 1月 11日 | 檜林 尚君（内科医）入会 | |
| | 3月 7日 | 迫坪 誠君（都市銀行）入会 | |
| | 4月 4日 | 観桜例会 須磨観光ハウス | |
| | 25日 | 基隆R.C.創立15周年式典に安田会長他 8 名出席 | |
| | 5月 18日 | 米山記念奨学生 朴 松春君（35才）神戸商科大学経営学博士課程
（カウンセラー 山崎良麿君） | |
| | 30日 | 第6回垂水区民講座“高齢化社会への対応”を開催
講演「老人性痴呆について」岡村直彦先生
シンポジウム「21世紀に向かって高齢化社会を考える」 | |



1991～1992年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	安 田 俊 吉	幹 事	坂 井 吉 富	副S.A.A.	河 合 睦 文
副 会 長	(駐・クラブ総)	飯 田 英 夫	副 幹 事	花 房 安 一	副S.A.A.	永 原 隆 嗣
理 事	(職業奉仕)	山 中 勉	会 計 計	水 谷 裕 昂	副S.A.A.	田 中 光 彰
理 事	(社会奉仕)	山 崎 良 麿	副 会 計	北 川 栄 信	副S.A.A.	吉 田 輝
理 事	(国際奉仕)	吉 田 安 廣	会 計 監 査	小 西 唯 雄	副S.A.A.	松 田
理 事	(会長エレクト)	森 本 英 明	S. A. A.	森 田 卓		
理 事	(直前会長)	森 田 卓				



1992～1993年度

会 長 増 田 俊 孝

幹 事 水 谷 裕 昂

1992年1月11月の理事会で1992～'93年度森本会長エレクト病気のため次年度会長エレクトの私が繰上り就任を決められたという慌ただしいスタートで、その後1993年3月には森本会長エレクトの退会で急遽、坂井次年度会長エレクトを会長エレクトに次年度会長エレクトに吉田安広会員を理事会で決めるという変則的な一年間でした。

この手続きについては、空知ガバナーの指導・連絡を受けて間違いの無いことを確認しましたが、何分にも地区協議会もせまり時間的余裕がなく、会員の方々にご迷惑をかけたことと思います。会長として任期内に懸案であった社会奉仕事業に「盲導犬10頭贈呈」が3月27日の臨時総会で決定され実行着手できた事が特に記憶に残っております。

1994年11月現在で記念事業の盲導犬4頭が既に活躍中とか、10頭贈呈の達成をよろしくお願い致します。

1982～1983年度日下部会長のご逝去（12月28日）は、会長と幹事の一年、その後もご指導・助言を頂いており深い悲しみと残念に思いました。

「秋の家族会」（京都東福寺・高台寺）等楽しい思い出もありましたが、6月26日の会長幹事慰労会での退任挨拶に退会の気持ちを込めて致しました。色々とお世話になりながらお返しもしないままで心苦しく思っております。現在は地域での奉仕に努めています。

神戸垂水R.C.に和やかで楽しい行事、例会が戻ることを祈念致しております。

増 田 俊 孝

主 な 行 事

1992年	7月 23日	第1回ファイヤーサイドミーティング開催 於 舞子ビラ大歳の間 出席者20名で盛会であった。
	8月 8日	公式訪問 空地啓一ガバナー 松森正顕御所代2分区代理 永井将司随行者
	29日	夏の納涼家族会（鮎狩り）揖保郡新宮“魚芳”参加者：22名
	9月 12日	塩谷英司君（学習塾）入会
	27日	秋の家族会（京都東福寺・高台寺）参加者：30名（うち会員19名）
	11月 7日	松木真志君（精密機械製造）入会
	12月 19日	会員・家族会（忘年会）ホテルオークラにて開催。出席者：71名
1993年	3月 27日	臨時総会にて「視覚障害者への盲導犬贈呈」を決議
	4月 3日	観桜家族例会・新入会員歓迎会 於 寿楼 会員：33名 朴夫妻2名 家族他：13名
	3日	古川嘉亮君（通信事業）入会
	5月 8日	第7回垂水区民講座開催「みんなで考えよう、高齢化時代の生きがいと健康」 於 レバンテホール
	8日	ファイヤーサイドミーティング開催 於 舞子ビラ 大歳の間 出席者：22名 石川君インドネシアよりの榮譽賞受賞祝い、 橋本・春名（昭）両名快気祝い
	11日	兵庫県盲導犬協会総会に出席 盲導犬10頭贈呈の目録贈呈及び新聞発表
	6月 1日	盲導犬5頭貸与先内定（6月5日例会発表）
	16日	盲導犬第1号犬決定（6月19日例会発表）貸与者 仲佐艶子さん 盲導犬 （エース）
	27日	垂水海岸清掃 参加者：19名 田中教仁君（食料調達）入会



1992～1993年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	増 田 俊 孝	幹 事	水 谷 裕 昂	副S.A.A.	河 合 睦 文
副 会 長	(理事・クラブ総)	春 名 敏 男	副 幹 事	善 國 高 豊	副S.A.A.	永 原 隆
理 事	(職業奉仕)	木 場 寿 男	会 計	坂 井 吉 富	副S.A.A.	田 中 田
理 事	(社会奉仕)	中 野 守 彦	副 会 計	迫 坪 康 民	副S.A.A.	吉 松 光 輝
理 事	(国際奉仕)	藤 本 典 彦	監 査	平 岡 安 俊	副S.A.A.	
理 事	(会長エレクト)	森 本 英 明	S. A. A.			
理 事	(直前会長)	安 田 俊 吉				



1993～1994年度

会 長 坂 井 吉 富
幹 事 出 口 正 志

神戸垂水ロータリークラブ第19年度は、クラブにとって、大変な試練の一年であった。
しかし、会員相互のロータリー精神の発揮により、実り多い一年となった。舞子ビラ改築に伴い、慎重協議のうえ、例会曜日を土曜日から木曜日に変更した。又、明石大橋の着工の年で300mの支柱にパイロットロープが掛けられた。

クラブの主な行事としては、2月6日に神戸第二分区のIM開催のホストを盛会裡に勤めた。盲導犬贈呈事業の進展があり、赤穂市にて市を上げての感動的な贈呈式となった。社会奉仕では福祉園児を須磨水族園に招待、神戸市長より＜花時計賞＞を授賞、好評の区民講座は＜オスマンサンコン＞を招き大盛会、親睦活動では、栗田山荘お香遊び、元禄花見模様観桜家族会、チャペルでのXマス家族会、多くのR財団米山寄付金による教育奉仕の充実、クラブ米山制度の採用、安岡正篤教学の卓話ほか数々の格調高い各ジャンルに渡る講話、また、台北のRI世界大会への大勢の参加と基隆東RCとの懇親、さらに、米山詣に参加し大いなる感銘を受けた。この一年間に新井会員との永久の別れがあり、又大勢の会員の退会があった。少ない会員ながら、協力頂き、RI会長よりバランスのとれた業績賞を授賞した。20周年に向けて、インターアクトクラブ研究委員会の発足、等ができた。

坂 井 吉 富

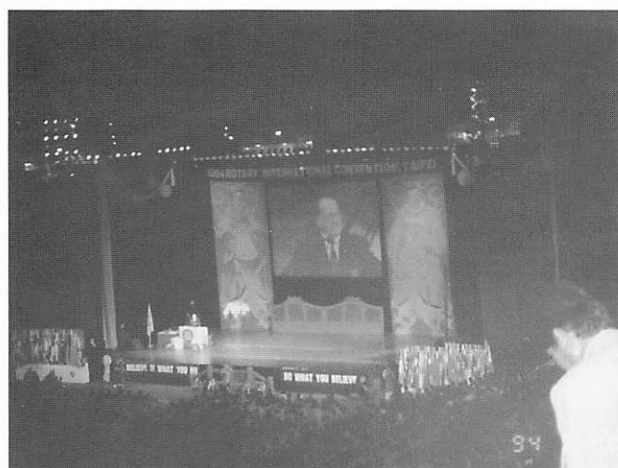
主 な 行 事

1993年	8月	7日	ガバナー公式訪問	ガバナー 石井 澄 随行者 安藤豊英、吉川弘治（分区代理）
		7日	ファイヤーサイドミーティング開催（舞子ビラ21名）	
	9月	28日	京都亀岡市の関西盲導犬協会盲導犬総合訓練センター見学（7名参加）	
	10月	18日	西神RCとの合同例会開催（舞子ビラ28名）	
		3日	秋の家族会 京都（香あそびとバスツアー 27名）	
	12月	26・27日	「米山詣で」	
		25日	クリスマス家族例会開催（ポートピアH 65名）	
1994年	2月	6日	神戸第2分区I.M.御戸国際会議場にて開催 吉川分区代理他全員主席（約250名参加）	
	3月	9日	盲導犬第2号贈呈式に出席 4名	
		12日	由良 博君（歯科医）入会	
	4月	9日	観桜例会開催並びに新入会員歓迎会（須磨観光ハウス 50名）	
		28日	心身障害児療育施設 市立「のぼら学園」の園児、保護者等110名を 須磨海浜水族園にご招待	
	5月	7日	第8回垂水区民講座開催 於レバンテホール 講師 オスマンサンコン氏「サンコンのアフリカ話」のテーマ 約600名の区民の皆様が参加され盛会裏に終了した。	
		28日	「のぼら学園ご招待」に神戸市長より花時計賞が授与された	
	6月	11・12日	R.I世界大会（台北） 11名出席	
		25日	会長幹事慰労会 藤原会員叙勲 安田会員県功労賞受賞祝賀会開催 （舞子ビラ 30名）	



1993～1994年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	坂 井 吉 富	幹 事	出 口 正 志	副S.A.A.	松 木 真 志
副 会 長	(理 事)	伊 藤 博	副 幹 事	吉 荒 勇	副S.A.A.	吉 荒 勇
理 事	(職業奉仕)	山 崎 良	会 計	吉 田 光 晴	副S.A.A.	吉 田 安 廣
理 事	(社会奉仕)	森 田 中	副 会 計	齊 藤 守 正		
理 事	(国際奉仕)	田 吉 田 安 廣	会 計 監 査	岡 田 弘 三 郎		
理 事	(会長エクト)	増 田 俊 孝	S. A. A.	増 田 俊 孝		
理 事	(直前会長)					



1994～1995年度

会 長 平 岡 康 民

幹 事 田 中 教 仁

新年度は7月7日の木曜日から始まった。20年間の土曜日例会に慣れてしまったメンバーに戸惑いが多く、いまだに全メンバーに納得してもらってない。ビルハントレイ R.I 会長の“Be a Friend”を貫きながらさらに多くの会員の賛同がえられる日時を探る必要がある。来る12月1日の役員選挙の日に、併せて例会時間を夜にするか、現行のままの時間にするかを投票により決める予定にしている。

9月29日に予定していた職場例会は、台風のためクラブ創立以来の臨時休会になってしまったのは残念であった。

永年の懸案であったインターアクトクラブの提唱の件が、10月27日の臨時総会で承認され、近く国際大学付属高校に結成されるはこびとなった。

11月26日に行われた20周年記念例会は藤原委員長を初め担当委員お献身的な活動により、盛会裏に終わった。

平 岡 康 民

主 な 行 事

- | | | |
|-------|---------|---|
| 1994年 | 7月 7日 | 第1回例会より例会日変更、木曜日になる |
| | 8月 14日 | R財団奨学生 松田裕美さんイギリスへ出発 |
| | 9月 1日 | 田淵良平君（水産物配布）入会 |
| | 8日 | 神戸西神 R.C. と合同例会 於 西神オリエンタルホテル |
| | 14日 | 第4号盲導犬ジュディー受領者、松尾 貢さんえの贈呈式を浜坂 R.C. で開催して頂き、平岡会長、小倉委員長が出席した。 |
| | 10月 13日 | 「米山月間」にちなんで米山記念奨学生 王 秀珍さん招待 |
| | 27日 | 臨時総会で“インターアクトクラブ”提唱の件が承認された。 |
| | 11月 30日 | 秋の家族旅行で青垣町高源寺え行く。参加者21名。 |
| | 10日 | 計馬ガバナー公式訪問 |
| | 26日 | 20周年記念例会をポートピアホテルで開催した。
石原慎太郎氏「世界の中の日本」日本の進路 記念公演 |
| | 12月 1日 | 長谷川良彦君（アナウンサー）入会 |
| | 22日 | 岡田和明君（木箱製造・配布）入会 |
| 1995年 | 1月 17日 | 阪神淡路大震災により第28回(2月9日) 第29回(2月16日) 第30回(2月23日) の例会休会！ |
| | 2月 4日 | 震災後はいじめての例会 |
| | 4月 6日 | 堀江貞昌君（水道工事）入会 |
| | 5月 11日 | 中村裕一君（料理店和食）・阿江治君（通信事業）入会 |
| | 6月 8日 | 鷺尾太一君（不動産コンサルタント）入会 |



1994～1995年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	平 岡 康 民	幹 事	田 中 教 仁	副S.A.A.	善 國 高 豊
副 会 長	(理 事)	橋 本 惇	副 幹 事	山 中 勉	副S.A.A.	村 井 正 明
理 事	(職業奉仕)	藤 本 芳 彦	会 計	吉 荒 勇	副S.A.A.	大 野 宣 夫
理 事	(社会奉仕)	吉 田 光 晴	副 会 計			
理 事	(国際奉仕)	吉 川 弘 治	会 計 監 査	善 國 高 豊		
理 事	(会長エレクト)	山 中 勉	S. A. A.	坂 井 吉 富		
理 事	(直前会長)	坂 井 吉 富				



1995～1996年度

会 長 山 中 勉
幹 事 松 木 真 志

今期は会務運営の基本理念を「ロータリーライフを楽しもう！」にしました。楽しい例会とは、仕事が終わっていきそと会場に行きたくなる様な例会を作る事により、会員相互の親睦の和を一層広げる事にあります。

また、委員会活動については、活動を通じて人間的な交わりと奉仕への理解があると考えています。

私の基本的な考えとしてのロータリーの集いは、ロータリーライフを楽しむためのものと考えていますので、会員皆様は、それぞれ異なった異業種の集まりであるこの場をうまく利用して、それぞれの特徴、特色をお互いに吸収し合って、成長の場として欲しいと思い、年間目標を決めました。

① 現状打破 ② 例会に楽しく参加 ③ なんでもみんなで考えて決める

また、神戸国際大学付属高校インターアクトの創立、認証状伝達式に会長として立ち会った事が一番の思い出でした。

山 中 勉

主 な 行 事

1995年	7月 20日	R財団奨学生 榊本智子さん 挨拶のため例会出席
	8月 24日	阪神地区震災対策特別委員会設置
	8月 3日	楯川賢三郎君（電気機械器具製造）入会
	9月 7日	永田哲也君（鍍金）入会
	14日	垂水プロバスクラブ（ちどり会）合同例会
	21日	ガバナー公式訪問
	30日	永田会員・楯川会員の新入会員歓迎会 会員・家族36名参加
10月	19日	神戸西神R.C.合同例会「相撲裏話」元日本相撲協会立行司 二十四代式守伊之助氏
	28日	「米山詣で」山中会長他5名参加
11月	23日	神戸国際大学付属高校インターアクトクラブ創立総会
12月	7日	新井紀美子さん（クリーニング）入会
		奥井順子さん（電気機械製造・配布）入会
	21日	阪神地区震災対策事業として①台湾からの留学生に奨学金贈呈、 ②被災者救護用ライトバン贈呈、③被災小学生への学資援助 以上確定
1996年	1月 18日	河合睦文君（科学研究）入会
	2月 3日	神戸第二分区I.M パネルディスカッション「親と子」「夫と妻」 のテーマで鷺尾君出席発表
	3月16・17日	R.I.第2680地区年次大会
	23日	神戸国際大学付属高校インターアクトクラブ認証状伝達式
4月	18日	職場例会（株）神戸製鋼所加古川製鉄所見学 24名参加
	14日	春の京都一日観光 会員家族46名参加
5月	18日	第9回垂水区民講座 講演「生きる喜びをともに」 講師 特別養護老人ホーム喜楽苑 施設長市川禮子さん 映画「午後の遺言状」主演 乙羽信子



1995～1996年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	山 中	勉	幹 事	松 木	真 志	副S.A.A.	安 田	俊 吉
副 会 長	(理 事)	吉 荒	勇	副 幹 事	大 野	宣 夫	副S.A.A.	長 谷 川	良 彦
副 理 事	(職業奉仕)	塩 谷 英	司	副 会 計	大 善	國 高	副S.A.A.	中 村	裕 一
理 事	(社会奉仕)	深 水 中	教 仁	副 会 計 監 査	春 名 昭	三 忠	副S.A.A.	鷺 尾	太 哲
理 事	(国際奉仕)	田 中	教 仁	会 計 監 査	藤 原	俊 吉	副S.A.A.	永 田	哲 也
理 事	(会長エレクト)	橋 本	惇 民	S. A. A.	安 田	俊 吉			
理 事	(直前会長)	平 岡	康 民						



1996～1997年度

会 長 橋 本 惇
幹 事 善 國 高 豊

この度はロータリークラブのみならずあらゆる面で大変な時に、私のような無力無徳な者を会長に推挙いただいた神戸垂水ロータリークラブの諸兄にお礼申し上げますと共に、引き続いて、今後共ご指導いただきますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

昭和38年より自分の会社の経営に追われていました。昭和53年学友花房君とゴルフ場での知友岡田君のすすめによりロータリークラブに入会しました。2、3所信を述べたいと思います。

1. 出席について（例会について）

ホームクラブに対する皆出席又はそれに近い出席。ホームクラブに対する出席率をよくすること。

2. 親睦活動について

親睦はクラブ運営の根元でありますので、その辺を充分心得て活動していただきたいと考えます。

3. 会報雑誌は、会員同志の結びつけをするものですから『ガバナー月信』も含めて必ず目を通して下さい。

4. 会員選考、職業分類会員増強、各委員会は各々の本旨を充分諒解した上で、協力して会員の増強に努めてほしいと考えます。

5. プログラムの立案については、どんな話が飛び出すのか興味を持てるようなプログラムを作ってほしいと願っています。

6. 奉仕部門は青少年奉仕は何といってもインターアクトの育成、先輩の作ってくれた道を充分かためる要ありと思います。

7. 国際奉仕は、基隆東クラブの20周年記念に際して盛大な声援を送り、彼のクラブの方より受けている恩恵にむくいるようにすべきだと思います。オーストラリアブリスベンの交友クラブとの交流も進めなくてはなりません。

その上、ガバナーを通じてR 1 財団、米山財団共に増額提供をいっていますので各会員の直接負担にならぬよう応じなくてはと考えます。

8. クラブ会計について少し申し上げます。入金より支出が100万円程多いと聞いています。これについては昨年度の支出から調整すれば何とかかなると考えますのでご協力のほどお願いします。

赤字の尻を会員のフトコロをあてにすること無く1年掛かって黒字にしたいと考えています。クラブの健全な財政運営のため何分のご協力をお願いして、私の挨拶といたします。

橋 本 惇

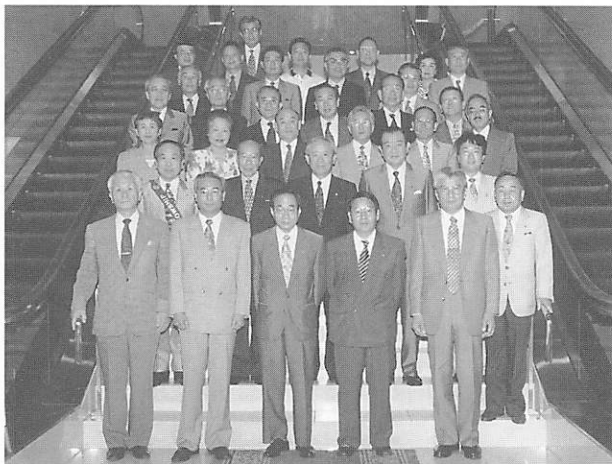
主 な 行 事

1996年	7月 25日	ガバナー公式訪問 (ガバナー 田中 毅・神戸第2分区代理 正井 攻・ガバナー随行者 鈴木 紀元)
	8月 27日	魚住 明君(料理店和食)入会
	9月 26日	例会場「神戸ワイン」平磯店移転(9月26日～12月26日)
	10月 3日	神戸西神R.C.合同例会 西神オリエンタルホテル
	13日	親睦活動委員会「秋を楽しむ会」観光船ルミナス明石大橋を船上から見学
	24日	記念事業実行委員会 第7号盲導犬(ウインク)貸与 三田市 斎藤晃司さん
1997年	1月 30日	記念事業実行委員会第8号盲導犬(サラ)貸与、明石市二見町 山淵和枝さん
	2月 19日	福岡悦子君(薬局)入会
	26日	基隆東R.C.「創立20周年記念式典」招請団歓迎 タワーサイドホテル
	3月	記念事業実行委員会 第9号盲導犬貸与 中央区 森 千代美さん 記念事業実行委員会 第10号盲導犬(ジュディ)貸与 灘区 沢 雄一さん
	4月 24日	基隆東R.C.「創立20周年記念式典」会員・家族20名出席
	5月 18日	神戸国際大学付属I.A.Cの仮設住宅へのボランティア活動の記事が神戸新聞朝刊に掲載
	29日	「第10回 垂水区民講座」開催 「講演と映画の集い」神戸市看護大学 岡本教授 超高齢社会の医療と福祉 映画「バッチンして!おばあちゃん」 中村裕一君(料理店和食)入会
	31日	記念事業(盲導犬10頭貸与)完了披露会 舞子ビラ 出席者 来賓50名会員31名 ◎上記事業に対し、1996～'97年度『ガバナー特別賞』受賞



1996～1997年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	橋 本	惇	幹 事	善 國	高 豊	副S.A.A.	岡 田	和 明
副 会 長	(理 事)	出 口	正 志	副 幹 事	平 岡	康 民	副S.A.A.	楯 川	賢 三郎
理 事	(職業奉仕)	藤 本	典 彦	会 計 計 画	吉 川	弘 治	副S.A.A.	魚 住	明
理 事	(社会奉仕)	塩 谷	英 司	副 会 計 監 査	田 淵	良 平	副S.A.A.	新 井	紀 美子
理 事	(国際奉仕)	花 房	安 一	会 計 監 査	安 田	俊 吉			
理 事	(会長エレクト)	出 口	正 志	S. A. A.	山 中	勉			
理 事	(直前会長)	山 中	勉						



1997～1998年度

会 長 出 口 正 志

幹 事 塩 谷 英 司

本年度会長をお引き受けした出口です。ロータリークラブは異業種の集まりであり、親睦と奉仕をするグループだと私自身受け止めています。

R.I.会長グレン.W.キンロン氏は、Sho Rotary Cares（ロータリーの心を）を本年度のテーマとして発表されています。四大奉仕部門すべてを通じて「ロータリーの心を」を示そうと呼びかけておられます。

クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四大奉仕部のそれぞれに！

私は、本年度は、ロータリーの心を行動する年であると決定しました。ロータリーの心は、例会出席によって培われるのであり、すべてのロータリーの会合に出席し、ロータリーの心を養って下さい。そして行動しましょう。この一年よろしくお願いします。

出 口 正 志

主 な 行 事

- 1997年 7月 3日 「ロータリー友」編集室に神戸垂水R.C.ホームページ開設案内
(地区で最初)
- 10日 米山奨学生 鐘文興君 神戸大学経済学研究科 中国出身
(カウンセラー 吉荒会員)
- 8月 29日 青少年奉仕委員会主催で神戸国際大学附属高校 I A Cメンバーとボー
リング大会22名参加
- 31日 ラウンドテーブルミーティング 舞子ビラ 27名出席
- 9月 25日 公式訪問(松下克巳ガバナー、随行者 古舞建司氏)
- 11月 4日 紅葉狩、福知山長安寺と舞鶴海軍記念館 会員他34名参加
「ロータリーの友」10月号に、75周年記念事業の「盲導犬10頭貸与」
披露の記事と写真掲載
- 12月 20日 クリスマス家族会 ポートピアホテル 会員38名家族他30名出席
- 1998年 1月 29日 中国、河北省大地震緊急義援金送金
- 2月 1日 神戸国際大学附属高校 I A C垂水地区青少年問題協議会、垂水区連合
婦人会、垂水防犯協会、垂水区長より「善行青少年」表彰される。
- 3月 21日 R.I.第2680地区年次大会(神戸ポートピアホテル)にて第五回目の米山
功労クラブとして受賞
- 4月 9日 神戸西神R.C.創立15周年記念例会に出口会長、橋本直前会長出席
- 5月 23日 第11回区民講座「70才の挑戦ー生きがいトーク」
講師 ヨットマン 鹿島 郁夫 氏
※例会会場変更 7月9日～9月10まで 垂水医師会館



1997～1998年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	出 口	正 志	幹 事	塩 谷	英 司	副S.A.A.	堀 江	貞 昌
副 会 長	(理 事)	藤 本	典 彦	幹 事	岡 田	和 明	副S.A.A.	中 村	裕 一
理 事	(職業奉仕)	山 崎	良 磨	会 計	善 國	高 豊			
理 事	(社会奉仕)	安 田	俊 吉	副 会 計	平 岡	民 忠			
理 事	(国際奉仕)	河 合	睦 文	会 計 監 査	藤 原	忠 惇			
理 事	(会長エレクト)	藤 本	典 彦	S. A. A.	橋				
理 事	(直前会長)	橋	本						



1998～1999年度

会 長 藤 本 典 彦

幹 事 永 田 哲 也

我々は寄附団体ではない、慈善団体ではないとよく言いますが、やはりお金で社会に貢献している部分が大きいのと思います。ポールハリスエローも、米山もそうです。しかし一度寄附をはじめたら、継続性が必要であると思います。ロータリークラブは設立当初は、会社組織の中では孤独である社長がお互い同士集まって酒でも飲んでなぐさめ合う様な集まりだったのだと思います。それに少し積極的な意味を持たせ、異業種間の情報の交換をしたり、又、相互に便宜をはかり合ったりしたのだらうと思います。

友情でささえられた交友関係であれば椎木を重んじる事が第一となるでしょう。その信義が広がって奉仕の心が芽生えてきたのだと思います。会員相互の利益を先ず追求しただけですが私は親睦を第一としたいと思います。他クラブとの親睦、台湾基隆東ロータリークラブとの国際親睦、これを第一に置きたいと思います。今、我がクラブは、沈滞ムードが出ています。たしかに震災やバブルの崩壊等も影響していると思いますが、この時こそロータリーの原点に戻って、親睦をはかって行く必要が有ると思います。

メンバーの減少により、財政的な圧迫も有るかと思いますが、質素でも良い、自分達の甲羅にあったクラブ活動を進めていきたいと存じます。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

藤 本 典 彦

主 な 行 事

- | | | | |
|-------|-----|-----|--|
| 1998年 | 7月 | 18日 | 花火大会 於：メリケンパーク |
| | | 30日 | 基隆東R.C.歓迎懇親会 於：舞子ホテル |
| | 9月 | 19日 | ファイヤーサイドミーティング（鱧と河豚を食す会） |
| | 10月 | 8日 | 神戸西神R.C.合同例会 於：舞子ビラ |
| | 11月 | 1日 | 秋の家族旅行 京都：天竜寺・圓光寺・南禅寺 |
| | 12月 | 4日 | 神戸西R.C.合同コンペ 於：センチュリー三木 |
| | | 12日 | 年末家族会 於：舞子ビラ・六甲の間 |
| 1999年 | 1月 | 7日 | 小阪俊哉君（眼科医）入会 |
| | | 23日 | 神戸第2分区I.M 於：ポートピアホテル 鷺尾君パネラーとして出席 |
| | 3月 | 12日 | 地区大会 於：ポートピアホテル |
| | | 13日 | 地区大会 於：大阪ドーム |
| | 4月 | 1日 | 上田隆史君（栄養学教授）、谷口洋子君（不動産賃貸）、 |
| | | 3日 | 中塚 修君（不動産管理）入会 |
| | | | 観桜会と新入会員歓迎会（中塚・谷口・上田会員） |
| | | | 於：須磨観光ハウス 会員、家族 30名参加 |
| | | 14日 | 兵庫県盲導犬協会神戸総合訓練センター竣工式に小倉会員出席 |
| | | 16日 | 神戸西4R.C.ゴルフコンペ 於：垂水ゴルフ倶楽部 |
| | 5月 | 22日 | 三木 昌君（調味料MD）入会 |
| | 6月 | 27日 | 基隆R.C.W.C.S.プランの独居老人施設にホットライン設置する件で5,000ドル送金協力 |
| | | 3日 | 米山奨学金 ヤセン アイニワル君（中国）神戸商船大学シュミレーション工学研究室博士コース |
| | | 5日 | 新入会員歓迎会（三木会員）於：天神閣 会員・家族26名出席 |
| | | 17日 | 会長・幹事慰労会 於：舞子ビラ |
| | | | ©1998～'99年度ポリオ・プラス・パートナー・プログラム寄附クラブとして地区から表彰を受く。 |



1998～1999年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	藤 本 典 彦	幹 事	永 田 哲 也	副 S.A.A.	楯 川 賢三郎
副 会 長	(理 事)	春 名 敏 男	副 幹 事	堀 江 貞 昌	副 S.A.A.	鷺 尾 太 一
理 事	(職業奉仕)	吉 田 欣 也	副 会 計	平 岡 康 弘	副 S.A.A.	新 井 紀 美子
理 事	(社会奉仕)	善 國 高 豊	副 会 計	吉 川 弘 治	副 S.A.A.	奥 井 順 子
理 事	(国際奉仕)	小 倉 良 知	会 計 監 査	田 中 教 仁		
理 事	(会長エクスト)	春 名 敏 男	S. A. A.	山 崎 良 磨		
理 事	(直前会長)	山 口 正 志				



日本垂水扶輪社成員 拜會市長

支援辦理獨居老人緊急呼叫系統 李進勇致謝

【記者紀重輝／基隆報導】日本垂水扶輪社成員一行，於昨(廿)日拜會基隆市長李進勇，受到熱烈歡迎。垂水扶輪社與基隆扶輪社等單位合辦獨居老人緊急呼叫系統，協助獨居老人向外求救。李市長表示，該系統對獨居老人安全至關重要，並感謝垂水扶輪社成員的熱心公益活動。李市長表示，該系統對獨居老人安全至關重要，並感謝垂水扶輪社成員的熱心公益活動。李市長表示，該系統對獨居老人安全至關重要，並感謝垂水扶輪社成員的熱心公益活動。



1999～2000年度

会 長 田 中 彰
幹 事 由 良 博

ロータリー基本理念である奉仕の理想を求めつつ、先輩会員の献身的な努力のお陰をもちまして、ここに神戸垂水ロータリークラブ創立25周年記念式典を、開催できます事は我々全会員にとりまして最大の喜びであります。式典を開催するにあたり川本神戸市垂水区長・米谷ガバナーを始め各界より多数の御来賓を迎える事ができ、更に遙か遠く台湾より友好クラブである基隆東ロータリークラブから26名、神戸西神ロータリークラブの友好クラブである板橋ロータリークラブより多数の参加もあり、感謝の念に耐えません。私たちは、25周年を迎えたのを機に、各会員が、親睦を図り、奉仕の理想に向かってクラブを自己研鑽の道場として、我クラブの伝統と歴史を大切に、更なる発展を遂げるべく、努力を進めて行きたいと存じます。御参会頂きました皆様方の、益々の御健勝と御発展を、お祈り致しまして、私の歓迎の挨拶とさせていただきます。

田 中 彰

主 な 行 事

- | | | |
|-------|-----------|---|
| 1999年 | 7月 1日 | 石川栄子君(パッキング製造・配布)、清家智光君(キリスト教牧師)入会 |
| | 8月 1日 | 垂水漁港美化清掃
夏休み中の基隆東R.C.との青少年の交換留学を実施
神戸垂水R.C.から4名基隆東へ 8月9日～8月18日まで
長谷川 明里、木下 雅恵、瀧本 雄資、富永 亜紀
基隆東R.C.から3名神戸垂水へ 8月13日～8月20日まで
邸 日綺、王 馨培、陳 柔文 |
| | 19～20日 | 地区I.A年次大会 丹波少年自然の家 13名出席 |
| | 9月 2～5日 | 神戸国際大学付属高校就職模擬面接に参加協力(5名) |
| | 9日 | ガバナー公式訪問 ガバナー米谷 収氏、地区代表幹事 和田憲昌氏、河野忠弘氏(神戸南R.C.) |
| | 10月 29日 | トルコ西部大地震 緊急義援金協力
台湾中部地区地震 見舞訪問 基隆東R.C.へ
独居老人に対する緊急通報設備WCS協力、現地新聞に掲載される。 |
| | 12月 4日 | 創立25周年記念例会並びに式典 舞子ビラ
G S E派遣団員に当クラブ推薦の中山貴之さん合格
4月30日～5月21日までアメリカ、イリノイ州へ |
| 2000年 | 1月 6日 | 女性会員による「新春座談会一米谷ガバナーを囲んで」に奥井会員出席 |
| | 29日 | I.M.年次大会ホストクラブとして 於い：ポートピアホテル
ゼネラルリーダー 神木 薫
神戸第2分区代理 山崎 良麿
I.M.実行委員長 吉川 弘治 |
| | 3月 24～30日 | I.A.C学生2名と澤江先生 オーストラリア、マウントクーサーR.C.にホームステイ
台湾地震による被害者の児童を励ますための
親善日台青少年野球大会(ガンバレ台湾)神戸第2分区7R.C.協力 |
| | 5月 20日 | 第13回区民講座 於：舞子ビラ
「お母さんは宇宙人」一心と心 お母さんの介護を通してー
橋 凡子さん(歌手 橋 幸夫の奥様)
・創立25周年記念の旗 三大事業スローガンの旗 田中 彰会長寄贈
・職業奉仕「四つの反省」の旗 水谷 会員寄贈
・「ロータリーの綱領」「四つのテスト」の旗 藤本 会員寄贈
◎1999～2000年度 ロータリー財団法人頭寄付額上位3クラブとして
神戸垂水R.C. 218.47USドル受賞 |



1999～2000年度 神戸垂水R.C.理事・役員・委員会構成表

会 長	(理 事)	田 中	彰	幹 事	由 良	博	副S.A.A.	石 川	栄 子
副 会 長	(理 事)	松 木	真 志	副 幹 事	鷺 尾	太 一	副S.A.A.	水 谷	裕 一
理 事	(職業奉仕)	奥 井	順 子	会 計	岡 田	和 明	副S.A.A.	中 村	裕 哲
理 事	(社会奉仕)	森 田	卓 治	副 会 計	吉 川	弘 治	副S.A.A.	永 田	
理 事	(国際奉仕)	吉 川	弘 治	会 計 監 査	善 國	高 典			
理 事	(会長エクト)	田 中	教 仁	S. A. A.	藤 本	彦			
理 事	(直前会長)	藤 本	典 彦						



歴代役員名簿

	1985～1986	1986～1987	1987～1988	1988～1989	1989～1990
R.I. 会 長	エドワードF.ガマン Edward F Cadman	M.A.T.カパラス M.A.T. Caparas	チャールズC.ケラー Charles C keller	ロイス.アビー Royce Abbey	ヒューM.アーチャー Hugh M.Archer
R.I.第268地区ガバナー	金子 太 郎	坂 田 元 記	内 藤 尚 武	神 木 薫	飯 尾 精
会 長 (理 事)	小 倉 良 知	藤 本 芳 彦	吉 田 欣 也	山 崎 良 麿	新 井 賢 一
副 会 長 (理 事)	吉 田 欣 也	新 井 賢 一	楯 川 幸 次 郎	森 本 英 明	増 田 俊 孝
幹 事	吉 田 安 廣	森 本 英 明	藤 本 典 彦	春 名 敏 男	斎 藤 守 正
副 幹 事	藤 本 典 彦	水 谷 裕 昂	大 野 宣 夫	深 水 昭	平 岡 康 民
会 計	日下部紀一郎	藤 本 典 彦	橋 本 惇	藤 原 忠	花 房 安 一
S. A. A.	山 崎 良 麿	小 倉 良 知	藤 本 芳 彦	吉 田 欣 也	横 山 拓 治
会 計 監 査	吉 川 弘 治	花 房 安 一	木 下 光 徳	小 倉 良 知	山 崎 良 麿
会長ノミニー(理事)	藤 本 芳 彦	吉 田 欣 也	山 崎 良 麿	新 井 賢 一	森 田 卓
クラブ奉仕(理事)	吉 田 欣 也	新 井 賢 一	楯 川 幸 次 郎	森 本 英 明	増 田 俊 孝
出 席	水 谷 裕 昂	山 崎 良 麿	増 田 俊 孝	大 野 宣 夫	田 中 彰
親 睦 活 動	新 井 賢 一	横 山 拓 治	安 田 俊 吉	森 田 卓	小 倉 良 知
会 報 雑 誌	古 谷 好 造	岡 本 榮 太 郎	石 川 貞 雄	斎 藤 安 正	春 名 敏 男
会 員 選 考	岡 田 弘 三 郎	飯 田 英 夫	村 井 正 明	増 田 俊 孝	木 場 寿 男
会 員 増 強	村 井 正 明	増 田 俊 孝	吉 川 弘 治	小 倉 良 知	伊 藤 博
プ ロ グ ラ ム	河 合 睦 文	木 場 寿 男	小 倉 良 知	平 岡 康 民	藤 原 忠
広 報	木 場 寿 男	小 西 唯 雄	山 中 勉	横 山 拓 治	深 水 昭
唱 歌	吉 川 弘 治	安 田 俊 吉	伊 藤 博	深 水 昭	岡 本 榮 太 郎
職 業 分 類	平 岡 康 民	伊 藤 博	飯 田 英 夫	春 名 昭 三	河 合 睦 文
ロータリー情報	飯 田 英 夫	楯 川 幸 次 郎	横 山 拓 治	吉 田 安 廣	橋 本 惇
職業奉仕(理事)	木 下 光 徳	河 合 睦 文	平 岡 康 民	水 谷 裕 昂	岡 田 弘 三 郎
社会奉仕(理事)	安 田 俊 吉	吉 川 弘 治	吉 安 康 廣	飯 田 英 夫	藤 本 典 彦
青 少 年 活 動	小 西 唯 雄	平 岡 康 民	河 合 睦 文	藤 本 典 彦	永 原 隆 嗣
環 境 保 全	岡 本 榮 太 郎	春 名 敏 男	新 井 賢 一	永 原 隆 嗣	楯 川 幸 次 郎
国際奉仕(理事)	増 田 俊 孝	橋 本 惇	木 場 寿 男	花 房 安 一	大 野 宣 夫
ロータリー財団	花 房 安 一	村 井 正 明	岡 田 弘 三 郎	木 場 寿 男	吉 田 欣 也
75周年記念行事推進	藤 本 芳 彦	森 田 卓	花 房 安 一	岡 田 弘 三 郎	花 房 安 一
年次大会委員長	岡 田 弘 三 郎	岡 田 弘 三 郎			
年次大会幹事		吉 川 弘 治			
プ ロ バ ス					
米山記念奨学会					
20周年記念事業					

歴代役員名簿

	1990～1991	1991～1992	1992～1993	1993～1994	1994～1995
R.I. 会 長	パウロV.C.コスタ Paulo V.C. Cosuta	ラジェンドラK.サブ Rajendora k Saboo	クリスダクターマン Cliss Dochterman	ロバートR.バース Robert R Barth	ビルハントレー Bill Hunthey
R.I.第268地区ガバナー	深 川 純 一	奥 村 孝	空 地 啓 一	石 井 澄	計 馬 忠
会 長 (理 事)	森 田 卓	安 田 俊 吉	増 田 俊 孝	坂 井 吉 富	平 岡 康 民
副 会 長 (理 事)	木 場 寿 男	飯 田 英 夫	春 名 敏 男	伊 藤 博	橋 本 惇
幹 事	吉 田 光 晴	坂 井 吉 富	水 谷 裕 昂	出 口 守 正	田 中 教 仁
副 幹 事	吉 川 弘 治	花 房 安 一	善 口 高 豊	吉 荒 勇	山 中 勉
会 計	田 中 彰	水 谷 裕 昂	坂 井 吉 富	吉 田 光 晴	吉 荒 勇
S. A. A.	森 本 英 明	森 田 卓	安 田 俊 吉	増 田 俊 孝	坂 井 吉 富
会 計 監 査	藤 本 芳 彦	小 西 唯 雄	平 岡 康 民	岡 田 弘 三 郎	善 口 高 豊
会長ノミニー(理事)	安 田 俊 吉	森 本 英 明	森 本 英 明	吉 田 安 廣	山 中 勉
クラブ奉仕(理事)	木 場 寿 男	飯 田 英 夫	春 名 敏 男	伊 藤 博	橋 本 惇
出 席	藤 原 忠	新 井 賢 一	斎 藤 守 正	松 本 真 志	吉 川 嘉 亮
親 睦 活 動	春 名 敏 男	斎 藤 守 正	橋 本 惇	水 谷 裕 昂	藤 本 典 彦
会 報 雑 誌	藤 本 典 彦	伊 藤 博	吉 田 光 晴	大 野 宣 夫	松 本 真 志
会 員 選 考	小 倉 良 知	藤 原 忠	小 西 唯 雄	安 田 俊 吉	春 名 昭 三
会 員 増 強	吉 田 欣 也	中 野 守	出 口 守 正	塩 谷 英 司	春 名 敏 男
プ ロ グ ラ ム	中 野 守	吉 田 欣 也	森 田 卓	田 中 教 仁	檜 林 尚
広 報	岡 田 弘 三 郎	橋 本 惇	大 野 宣 夫	永 原 隆 嗣	森 本 卓
唱 歌	吉 田 安 廣	藤 本 典 彦	小 倉 良 知	春 名 敏 男	山 崎 良 麿
職 業 分 類	出 口 正 志	岡 本 榮 太 郎	善 口 高 豊	安 田 俊 吉	小 西 唯 雄
ロータリー情報	平 岡 康 民	藤 本 芳 彦	村 井 正 明	吉 田 欣 也	水 谷 裕 昂
職業奉仕(理事)	田 中 彰	山 中 勉	木 場 寿 男	山 崎 良 麿	藤 本 芳 彦
社会奉仕(理事)	村 井 正 明	山 崎 良 麿	中 野 守	森 田 卓	吉 田 光 晴
青 少 年 活 動	水 谷 裕 昂	小 林 徹	吉 川 弘 治	深 水 昭	深 水 昭
環 境 保 全	春 名 昭 三	楯 川 幸 次 郎	深 水 昭	檜 林 尚	塩 谷 英 司
国際奉仕(理事)	深 水 昭	吉 田 安 廣	藤 本 典 彦	田 中 彰	吉 川 弘 治
ロータリー財団	河 合 睦 文	村 井 正 明	山 崎 良 麿	平 岡 康 民	吉 田 安 廣
75周年記念行事推進	花 房 安 一	花 房 安 一	花 房 安 一	小 倉 良 知	小 倉 良 知
年次大会委員長					
年次大会幹事					
プ ロ バ ス	吉 川 弘 治				
米山記念奨学会					石 川 貞 雄
20周年記念事業					藤 原 忠

歴代役員名簿

	1995～1996	1996～1997	1997～1998	1998～1999	1999～2000
R.I. 会 長	ハーバート G. ブラウン Herbert G. Brown	ルイス V. ジアイ Luis V. Giay	グレン W. キンロス Glen w. kinross	ジェームス L. レーシ James L. Lacy	カルロ・ラピッツァ Carlo Ravizza
R.I. 第268地区ガバナー	松岡通夫	田中 毅	松下克巳	谷水清司	米谷 収
会 長 (理事)	山中 勉	橋本 惇	出口正志	藤本典彦	田中 彰
副会長 (理事)	吉荒 勇	出口正志	藤本典彦	春名敏男	松木真志
幹 事	松木真志	善國高豊	塩谷英司	永田哲也	由良 博
副 幹 事	大野宣夫	平岡康民	岡田和明	堀江貞昌	鷺尾太一
会 計	善國高豊	古川弘治	善國高豊	平岡康民	岡田和明
S. A. A.	安田俊吉	山中 勉	藤本 惇	山崎良麿	藤本典彦
会 計 監 査	藤原 忠	安田俊吉	藤原 忠	田中教仁	善國高豊
会長ノミニー (理事)	橋本 惇	出口正志	藤本典彦	田中 彰	田中教仁
クラブ奉仕 (理事)	吉荒 勇	出口正志	藤本典彦	春名敏男	松木真志
出 席	田淵良平	堀江貞昌	永田哲也	新井紀美子	中村裕一
親 睦 活 動	森田 卓	長谷川良彦	小倉良知	深水 昭	山中 勉
会 報 雑 誌	由良 博	水谷祐昂	長谷川良彦	鷺尾太一	鷺尾太一
会 員 選 考	岡田弘三郎	藤原 忠	平岡康民	田中 彰	春名敏男
会 員 増 強	春名敏男	山崎良麿	森田 卓	森田 卓	小倉良知
プ ロ グ ラ ム	村井正明	小倉良知	深水 昭	水谷裕昂	長谷川良彦
広 報	大野宣夫	吉荒 勇	由良 博	春名昭三	小坂敏哉
唱 歌	田中 彰	由良 博	吉川弘治	奥井順子	谷口洋子
職 業 分 類	春名昭三	春名昭三	岡田弘三郎	河合睦文	河合睦文
ロータリー情報	山崎良麿	榎林 尚	水谷裕昂	村井正明	吉田欣也
職業奉仕 (理事)	塩谷英司	藤本典彦	山崎良麿	吉田欣也	奥井順子
社会奉仕 (理事)	深水 昭	塩谷英司	安田俊吉	善國高豊	森田 卓
青少年活動	榎林 尚	深水 昭	山中 勉	長谷川良彦	水谷裕昂
環 境 保 全	長谷川良彦	田中教仁	田淵良平	安田俊吉	新井紀美子
国際奉仕 (理事)	田中教仁	花房安一	河合睦文	小倉良知	吉川弘治
ロータリー財団	石川貞雄	安田俊吉	吉田欣也	岡田弘三郎	善國高豊
75周年記念行事推進					
年次大会委員長					
年次大会幹事					
プ ロ バ ス					
米山記念奨学会	坂井吉富	村井正明	田中 彰	吉荒 勇	平岡康民
25周年記念事業					春名敏男

思い出の写真集



思い出の写真集



思い出の写真集



思い出の写真集



▶▶▶▶▶ 編集後記 ◀◀◀◀◀

25周年記念誌の発刊が、大変遅くなりましたことについて、まずお詫びいたします。

創立後10周年記念誌発刊後、当時、岡田会長から示された、各年次の会員報告、奉仕活動、親睦行事等の記録写真等の整備、保存が充分でなく、そのため岡田、山崎両会員はじめ会員の皆様からのご協力と、特に鷺尾会員の献身的なご協力により、なんとかわがクラブ25周年の歴史が閉ざされることなく、後世に残すことが出来ました。ここにあらためて感謝を申し上げ、発刊のことばといたします。

吉川 弘治

神戸垂水ロータリークラブ

事務局 〒655-0012 神戸市垂水区向陽2-2-20
ボヌール向陽102号
TEL.078-708-1521
FAX.078-708-6066



ロータリー 2000:
活動は一堅実、
信望、持続

The Rotary Club of KOBE TARUMI